

令和5年度

さっ
て
幸手の教育



幸手市教育委員会

あいさつ

令和5年度教育要覧「幸手の教育」の発刊にあたりまして、日頃から本市教育行政の推進に格別なる御理解と御協力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

ウィズコロナの中で、小・中学校の教育活動や市民の皆様の諸活動が徐々に回復の兆しを見せている現状ですが、幸手市教育委員会では、平成31年度から令和5年度までの5年間の計画期間とする幸手市教育大綱（第2次）において、「子どもがいきいきと育ち、子育てしやすいまち」、「市民が学び、市民が活躍できるまち」の2つを基本理念に掲げ、「学校教育内容の充実」、「学校教育環境の整備」、「青少年の健全な育成」、「社会教育の充実」、「歴史・伝統文化の継承と活用」の5つの基本目標のもと、積極的な教育行政を推進しております。

目標の実現に向けて、学校給食費値上げ相当額の補助を行うとともに、引き続き、実用英語技能検定団体検定料の助成を行うなど、令和の日本型教育の構築と環境整備を推進し、時代に即応した学校教育の実現を目指します。なお、入間市との交流も一層推進します。

また、各公民館に設置したWi-Fi設備を活用したスマートフォン講座や、図書館設置90周年を記念した各種事業を開催するなど、市民が生涯にわたって学び、活躍できるよう社会教育の充実を一層推進するとともに、幸手市の貴重な歴史・伝統文化を継承し、魅力を発信することで市民の文化の向上や郷土愛の醸成を目指します。

本要覧は、本市における教育行政や教育機関の諸活動について概要をまとめたものでございます。

今後につきましても、市民の皆様をはじめ、関係する皆様方の御理解のもと、教育行政を推進してまいりますので、より一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月



幸手市教育委員会 教育長 山西 実

目 次

あいさつ		教育長 山 西 実	
教育行政	1	資料編	37
教育委員会	2	幸手市の歴史	38
令和5年度一般会計予算及び教育費	3	幸手市の変遷	39
事務局組織及び事務分掌	4	幸手市教育委員会沿革	40
令和5年度幸手市教育行政重点施策	5	歴代教育委員	43
教育行政重点施策体系図	6	附属機関等	45
◆学校教育分野		学校等の概要	46
学校教育内容の充実	8	令和5年3月中学校卒業者の進路状況	47
学校教育環境の整備	8	進学者の推移	47
◆社会教育分野		教職員数の推移	48
青少年の健全な育成	12	教職員の年齢構成	48
社会教育の充実	13	学校給食	49
歴史・伝統文化の継承と活用	15	指定文化財及び刊行物	51
教育施設	17	市民憲章等	55
幸手市内教育施設地図	18		
小学校	19		
中学校	28		
社会教育・スポーツ施設	31		

教 育 行 政



教育行政

◆ 教育委員会

(1) 教育長及び教育委員



山西 実
教育長



会田 研司
教育長職務代理者



岩崎 万紀子
教育委員



高島 勝也
教育委員



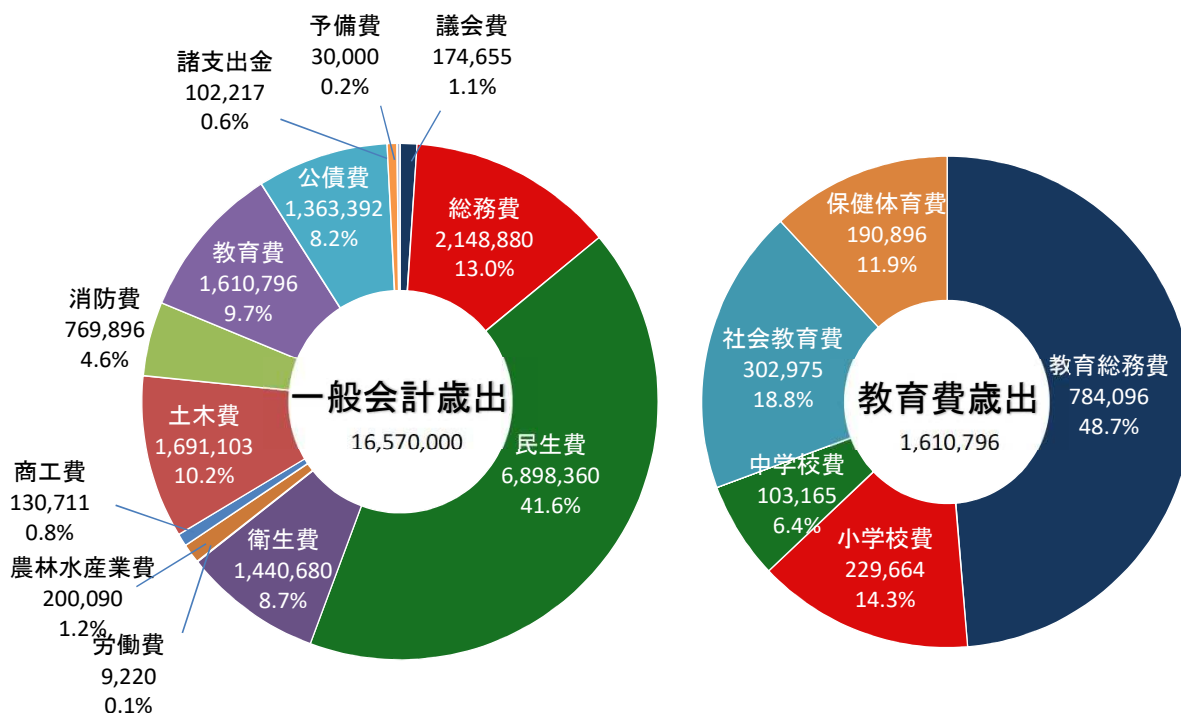
藤沼 寛次
教育委員



古沢 万友実
教育委員

No	職名	氏名	任期	就任日
1	教育長	山西 実	令和 3年 4月 1日～令和 6年 3月31日	平成 26年 4月 8日
2	教育長職務代理者	会田 研司	令和 4年10月 1日～令和 8年 9月30日	平成 30年 10月 1日
3	教育委員	岩崎万紀子	令和 2年 6月 1日～令和 6年 5月31日	令和 2年 6月 1日
4	教育委員	高島 勝也	令和 2年10月 1日～令和 6年 9月30日	令和 2年 10月 1日
5	教育委員	藤沼 寛次	令和 2年10月 1日～令和 6年 9月30日	令和 2年 10月 1日
6	教育委員	古沢万友実	令和 3年10月 1日～令和 7年 9月30日	令和 3年 10月 1日

◆ 令和5年度一般会計予算及び教育費



(1) 教育費の推移

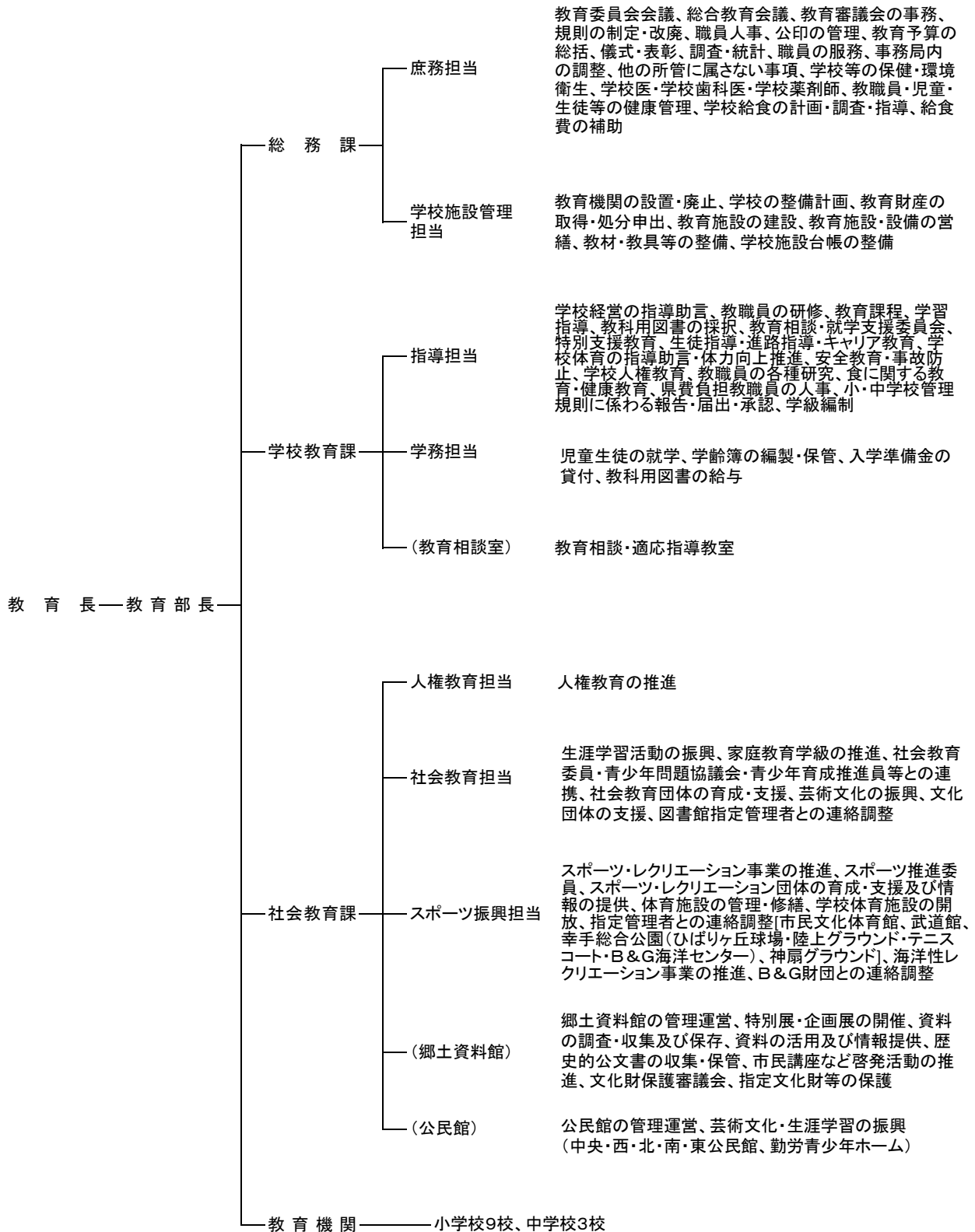
(単位:千円)

年度	R1	R2	R3	R4	R5
一般会計 (A)	15,837,000	15,800,000	15,410,000	15,940,000	16,570,000
教育費 (B)	1,738,735	1,725,753	1,539,970	1,511,663	1,610,796
比率 (B/A)	11.0%	10.9%	10.0%	9.5%	9.7%

(2) 児童・生徒1人当たりの教育費推移(児童・生徒…各年度5月1日現在)

年度	小学校費 (千円)	児童数 (人)	児童1人あたり (円)	中学校費 (千円)	生徒数 (人)	生徒1人あたり (円)
R1	345,423	2,301	150,118	89,426	1,089	82,117
R2	394,749	2,234	176,700	83,994	1,077	77,988
R3	180,216	2,188	82,365	84,365	1,101	76,625
R4	197,011	2,132	92,406	91,482	1,139	80,317
R5	229,664	1,986	115,641	103,165	1,179	87,502

◆ 事務局組織及び事務分掌



令和5年度幸手市教育行政重点施策



● 教育行政重点施策体系図

学校教育分野

基本目標1

学校教育内容の充実

基本目標2

学校教育環境の整備

「子どもがいきいきと育ち、市民が学び、活躍できるまち」
を目指して、様々な事業を実施します。

社会教育分野

基本目標3

青少年の健全な育成

基本目標4

社会教育の充実

基本目標5

歴史・伝統文化の継承と活用

SDG s (Sustainable Development Goals)

SDG sとは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称です。誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のために定めた 2030年までの17の目標(ゴール)のことを指します。

各具体的重点施策に係る主な取組に該当するSDG sのロゴマークを「SDG sとの関連」欄に表示しています。

	貧困をなくそう		人や国の不平等をなくそう
	飢餓をゼロに		住み続けられるまちづくりを
	すべての人に健康と福祉を		つくる責任、つかう責任
	質の高い教育をみんなに		気候変動に具体的な対策を
	ジェンダー平等を実現しよう		海の豊かさを守ろう
	安全な水とトイレを世界中に		陸の豊かさも守ろう
	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに		平和と公正をすべての人に
	働きがいも、経済成長も		パートナーシップで目標を達成しよう
	産業と技術革新の基盤をつくろう		



◆ 学 校 教 育 分 野

【基本目標1】学校教育内容の充実

【基本目標2】学校教育環境の整備

◆重点施策 ○実施予定事業（うち、●は新規掲載事業）

令和5年度 の 具体的重点施策 と 主な取組

<p>◆確かな学力の育成 (基礎的・基本的な学力の定着と学習習慣の育成)</p>	<p>SDG s との関連</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○児童・生徒1人1台学習者用端末の活用 ○統合型アプリケーション及び学習eポータルへの活用 ○幸手市中学校学力向上支援事業（映像授業サービスの活用） ○実用英語技能検定団体検定料の助成 ○全国学力・学習状況調査や埼玉県学力・学習状況調査の結果分析と活用の推進 ○幸手市統一学力調査の実施と活用 ○「さってアフタースクール事業」の推進 ○家庭学習5つの効果等のリーフレットの配布 ○教育課程の円滑な実施 ○学力向上推進協議会、市教委委嘱「学習指導方法改善研究」の推進 ○学校訪問による指導主事の指導・助言 ○教師用指導書等の整備 		
<p>◆豊かな心と健やかな体の育成 (道徳、体力向上、読書)</p>	<p>SDG s との関連</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の推進 ○各小・中学校道徳期間の実施 ○郷土資料「道徳のまち さって」、郷土教材資料「道徳のまち さってII」の活用推進 ○道徳教育推進協議会議の開催 ○体力向上推進委員会の開催 ○新体力テストの結果分析と活用の推進 ○市教委委嘱「体力向上の研究」の推進 ○市内小学校ロードレース大会の開催 ○学校図書館協力員の配置 		

<ul style="list-style-type: none"> ○家読（うちどく）の推進 ○読解力向上に係る取組の実施 ○学校図書館の環境整備 ○市立図書館との連携 		
<p>◆社会において自立的に生きていく力の育成</p>	<p>SDG s との関連</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○PBL（Project Based Learning）の推進 ※PBL＝課題解決型学習 ○インクルーシブ教育の充実 ●発達検査の支援 ○中学生の職場体験の実施 ○外国語教育を充実するためのALTの効果的な活用 ○幼保小の連携会議の開催 ●入間市との交流 ○志ノートの活用の推進 ○就学相談の実施 ○幸手市手をつなぐ子らの作品展の実施 ○就学支援委員会の開催 		
<p>◆人権教育の推進</p>	<p>SDG s との関連</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○人権作文の作成・発表 ○人権作文集の活用 ○部落差別をはじめとした人権教育研修会の実施 ○新たな人権課題（LGBTQ、SNS 情報モラル、ヤングケアラー支援）の理解啓発、支援方法等に係わる研修の実施 		
<p>◆生徒指導・教育相談体制の充実 (非行・問題行動、不登校対策の推進、いじめ防止対策の体制整備と推進)</p>	<p>SDG s との関連</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ●いじめ問題対策連絡協議会の開催 ○いじめ防止強化期間の実施 ○教育相談連絡会の開催 		

- 月例長期欠席児童生徒調査の実施と活用
- 各学校における「スマートフォンわたしたちの行動宣言」の活用
- 学校警察連絡協議会や生徒指導主任研究協議会の開催
- さわやか相談員・ふれあい相談員・教育相談員・心すこやか支援員の配置

◆家庭・地域との連携・協働による学校教育の推進

SDG s
との関連



- デジタル・シティズンシップ教育の推進
- コミュニティ・スクール事業の推進
- 通学路交通安全プログラムに基づいた児童・生徒の安全確保
- スクールガードの配置や子ども110番の家の設置の充実
- 部活動の地域移行に向けた指導者の配置
- 学校間・校種間の連携
- 地域の教育力や社会教育施設の活用・連携による体験活動の充実
- 学校応援団活動の充実
- 家庭との連携・協働による家庭学習の充実及び家読（うちどく）の推進

◆学校の働き方改革と資質向上及び学校評価等を生かした学校経営の改善

SDG s
との関連



- 持続可能な魅力ある学校運営の推進
- 校務の情報化の更なる効率化に向けた研究（勤怠管理、CMS、教職員PC更新）
- 統合型校務支援システムの活用
- 教職員ストレスチェックの実施
- 幸手・桜の学びセミナー等の充実
- ICT教育専門員及びICT支援員の活用
- 教職員用アカウントを活用した校務の電子化
- 共同学校事務室の組織を活用した働き方改革の推進
- 教育支援員・日本語指導員・学校教育専門員、スクールサポートスタッフ等の配置
- 臨時的任用教員研修会の実施等
- 年次研修（初任者、2年次・3年次・5年次・10年次、臨時的任用教員）の実施
- 学校教育専門員の配置
- 人事評価教育長面接（校長対象、年3回）の実施
- 学校評価の実施と公表

<p>◆学校施設及び教育環境の整備推進</p>	<p>SDG s との関連</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○市内小・中学校の今後の在り方の検討 ○新型コロナウイルス感染症対策に係る備品等の整備 ○ICT教育環境の整備（可搬型通信機器、デジタル教科書の整備） ○安全・安心な学校施設管理のための修繕や巡回 ○校務用パソコン及び統合型校務支援システムの運用 ○児童・生徒が2人以上いる保護者に学校給食費の補助 ○教室エアコンの継続使用 ○学校施設設備の管理 		
<p>◆安全・安心な学校給食の運営と食育の推進</p>	<p>SDG s との関連</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○食物アレルギー対応マニュアルの活用と徹底 ●学校給食費値上げ相当額の補助 ○学校給食調理コンクールへの参加 ○季節・行事食や郷土食による給食を通じた食育の推進 ○「だしで味わう和食の日」への参加を通じた食育 ○学校給食運営委員会及び献立会議の開催 ○栄養教諭・栄養職員と連携した食育授業の支援 ○「学校ファーム」の推進 		

◆ 社会教育分野

【基本目標3】青少年の健全な育成

◆重点施策 ○実施予定事業（うち、●は新規掲載事業）

令和5年度の 具体的重点施策 と 主な取組

◆青少年健全育成事業の推進と充実

SDG s
との関連





- 各種子ども事業の推進
- 青少年育成推進員活動の充実
- 青少年問題協議会の開催
- 二十歳を祝う会の開催
- 青少年関係団体活動の支援

【基本目標4】社会教育の充実

◆重点施策 ○実施予定事業（うち、●は新規掲載事業）

令和5年度 の 具体的重点施策 と 主な取組		
◆市民との協働による社会教育活動の推進	SDG s との関連	
<ul style="list-style-type: none"> ○文化祭の実施 ○ランチタイムコンサートの実施 ○ステーションギャラリーを活用した文化活動の支援 ○社会教育団体及び文化活動団体活動の支援 ○さって市民生きがい教授登録者の活用 		
◆公民館活動の充実	SDG s との関連	
<ul style="list-style-type: none"> ○公民館講座の推進（スマートフォン講座等） ○公民館まつりの実施 ○いきいき大学・ふれあいサロンの実施 ○施設整備の修繕と適切な維持管理 ○小・中学校との連携 ○活動団体の育成・支援 		
◆読書活動の推進と図書館運営の充実	SDG s との関連	
<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者制度による図書館の管理運営 ●図書館まつりの実施（図書館設置90周年事業） ○ブックスタート、セカンドブックスタート、読書通帳配布による読書活動の推進 ○子ども読書活動推進計画の実施 ○施設設備の修繕と適切な維持管理 		
◆市民との協働によるスポーツ・レクリエーション活動の推進	SDG s との関連	

- 市民体育大会の実施
- さくらマラソン大会の実施
- スポーツ教室等の実施
- 全国大会等に出場する選手等への補助金の交付
- 各種スポーツ・レクリエーション団体への活動支援
- スポーツ推進委員活動の支援

<p>◆体育施設の利用促進と管理運営の充実</p>	<p>SDG s との関連</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ●市民文化体育館のシャワー設備改修工事の設計の実施 ○指定管理者制度による体育施設の管理運営 ○学校体育施設開放事業の円滑な運営 ○施設設備の修繕と適切な維持管理 		
<p>◆人権啓発活動の充実</p>	<p>SDG s との関連</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉葛12市町連携による人権啓発活動の推進 ○人権啓発に係る研修会の開催（「埼玉葛人権を考えるつどい」「教職員合同現地研修会」「企業人権問題研修会」等） ○人権作文発表会等による啓発 ○人権啓発品の配布 ○視聴覚資料等の充実 ○人権教育実践報告会への参加促進 		

【基本目標5】歴史・伝統文化の継承と活用

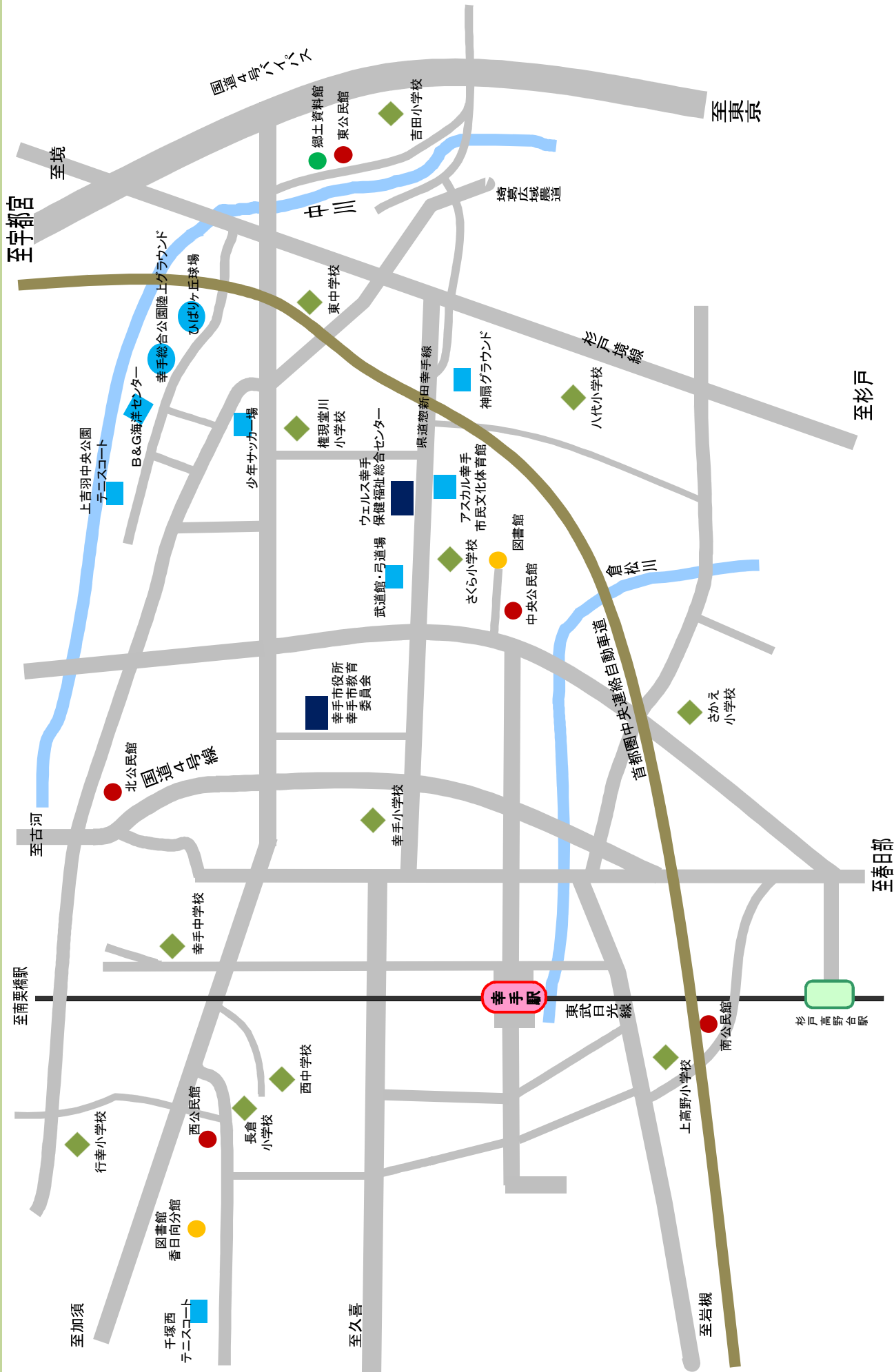
◆重点施策 ○実施予定事業（うち、●は新規掲載事業）

令和5年度 の 具体的重点施策 と 主な取組		
◆文化財の保護・活用と歴史文化の継承	SDG s との関連	
<ul style="list-style-type: none"> ○学校囲碁指導の実施 ○伝統的な行事や文化の継承 ○指導員の派遣（囲碁） ○市指定文化財の拡充 ○文化財の保護と調査・研究 ○市民と協働による本因坊ゆかりの囲碁文化の普及 ○文化財保護審議会の開催 ○文化財案内板の修繕 ○埋蔵文化財の保護 ○旧吉田中学校木造校舎の保護・活用 ○市指定無形文化財の後継者育成 ○新出文化財の情報発信 ○市内で受け継がれている民俗行事や伝統文化の調査研究 		
◆郷土資料館の活用と充実	SDG s との関連	
<ul style="list-style-type: none"> ○企画展・特別展の充実 ○郷土資料館収蔵資料調査事業の実施 ○ものづくり体験学習の実施 ○主催事業等協力者（ボランティア）の養成 ○歴史展示室・民具資料展示室の展示の充実 ○歴史的資料等の調査・研究・保存・活用 ○市固有の歴史と文化にかかわる地域資源の情報発信 ○小・中学校との連携 		

教 育 施 設



幸手市内教育施設地図





学校名	幸手小学校	児童数・学級数	262人・13学級
所在地	幸手市中3丁目 11番41号	教職員数	24人
校長	川島 正晴	創立記念日	明治5年2月1日
教頭	秋葉 光義	開校記念日	2月1日

(1)本校の特色

◇校是『徳智修開』の教え

～ 徳を修めてひろめたるや、智を修めてひろめたるや ～

『徳智修開』と刻まれ、玄関ホールに掲げられた額の文字は、秋月種樹氏によって揮毫されたと伝えられています。この言葉には学問の府としての夢、願いや想い、期待等がこめられており、身に付けたことを留め置くことなく社会に広める意味をもっています。この精神は明治5年の開校以来、脈々と受け継がれ、開校152周年を迎えます。

◇『4つの心と4つの力』を全教育活動で育成する

4 つ の 心	つ よ い 心：目標に向かって、ねばり強くやりぬく心 や さ し い 心：思いやりの心を持ち、親切にする心 いのちを大切に する心：生命の尊さを知り、自他の生命を大切に する心 考えを律する心：約束や決まりの意義を理解し、守る心
4 つ の 力	思 考 力：疑問を持ち、自問自答し、他の考えとの違いや共通点を見出す 楽しさを知り、視野を広げ、考えを深める力 創 造 力：自分の思いや考えを深めたり、発想を広げたり、多角的・多面的な視点から工夫したりしながら、新たな価値を見出し、論理的に他者に伝える力 チャレンジ力：「できること」だけでなく、「やりたいこと」を見つけ、結果だけにこだわらず、難しいことにも挑戦することを楽しみ、最後まで「やり抜こう」とする力 思いやる力：自分の行動を振り返り、相手のためになっているか考えたり、配慮したりしながら、互いに思いやり、共感し、高め合えるような信頼関係を築こうとする力

(2)教育目標

「自ら学び続ける子」

○ よく考えやりとげる子 ○ 仲よく助け合える子 ○ 健康でたくましい子

＜めざす学校像＞「共創・響創」
～ 学校・家庭・地域が結集し、4つの心と4つの力を育てる学校 ～

(3)今年度の研究テーマ

「自ら学び続ける子」の育成

吟味した教師の言葉による主体的・対話的で深い学びの創造



令和4年度 幸手市教育委員会研究委嘱発表会

秋季大運動会



学校名	権現堂川小学校	児童数・学級数	55人・8学級
所在地	幸手市大字神明内 570番地	教職員数	13人
校長	大八木 健夫	創立記念日	明治6年5月
教頭	佐藤 善英	開校記念日	11月2日

(1)本校の特色

本校は、全校児童が55人の小規模校です。明るく元気な子供たちが多く、和やかな雰囲気の中で教育活動に励んでいます。小規模校の特色を生かし、なかよしタイムや清掃活動、全校遠足等、縦割り活動を取り入れて行っています。縦割り活動をとおし、上級生の自主性やリーダー性を養い、人とのよりよい関わり方について学んでいます。また、地域の方々の学校に対する関心が高く、様々な場面で協力を得ています。学校応援団の方々を中心に、地域に伝わるまこもの馬作りやケナフの栽培、権小ファームの野菜作り等、校地内の環境整備活動等を行っています。下校時には、防犯パトロールボランティアの皆様が児童の安全を守っています。地域の皆様とともにつくりあげる「みんなの運動会」も本校の特色の一つで、地域・家庭・学校のつながりを深める行事となっています。「学びあい」でSDGs教育とSTEAM教育の推進を図り、地域・家庭・学校が一体となって、「学びあい、支えあい、高めあい、笑顔あふれる学校」の創造を目指しています。

(2)教育目標

「自分から行動できる子」

・すすんで学ぶ子（向上心） ・たすけあう子（共生） ・きたえる子（健康）

(3)今年度の研究テーマ

「自ら学び、考え、表現できる児童の育成」

～ 学びあい、支えあう授業づくりを通して ～



さつまいもほり



まこもの馬づくり



ケナフの紙すき



学校名	上高野小学校	児童数・学級数	295人・14学級
所在地	幸手市大字上高野 1009番地	教職員数	23人
校長	森 祥一	創立記念日	明治6年10月
教頭	工藤 伸彦	開校記念日	11月2日

(1) 本校の特色

本校は、幸手市の西地区に位置しています。学区内を東武鉄道日光線と国道4号、圏央道が通っており、量販店や映画館などの集合店舗の商業施設があります。また、学校近くには校歌にも歌われる琵琶溜井跡があります。開校150周年を迎え、歴史と伝統、新しい文化が混在している学区です。

令和5年度は、次の5つをキーワードに、目標に向かって教育活動を行っています。

- ①上小プライド：「本校で学ぶことができる誇り」「本校に通わすことができる誇り」
「本校で働くことができる誇り」
- ②3つの心：「志をもつ心」「感謝と報恩の心」「いのちを大切に作る心」
- ③4つの力：「思考力」「創造力」「チャレンジ力」「思いやり力」
- ④郷土愛：「家庭や地域のタカラ」を共育（共に育む）
- ⑤自走：子どものための主体的な取組

- 【めざす学校像】 『挑戦と創造』
～伝統を継承しつつ、新たな挑戦を通して誇りを育てる学校～
- 【めざす児童像】 「自信と誇りをもつ児童」
- 【めざす教師像】 「子どもを伸ばす熱意あふれる教師」

(2) 教育目標

- 【総括目標】 「挑戦し続ける子」
よく考える子（「志」に生きる子）
思いやりのある子（「感謝と報恩」の心のある子）
元気な子（いのち輝く子）

(3) 今年度の研究テーマ

- 「知識を活用するための、思考力・判断力・表現力の育成」
～ 言葉にこだわり、言葉を大切にして（自ら問題解決できる児童を目指して） ～



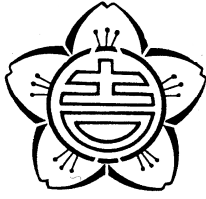
JRC活動



鼓笛隊の演奏



読解力向上を核とした
「学力向上」研究発表会



学校名	吉田小学校	児童数・学級数	52人・7学級
所在地	幸手市大字惣新田 3159番地	教職員数	10人
校長	関根 渉	創立記念日	昭和59年4月
教頭	梅田 大也	開校記念日	11月25日

(1) 本校の特色

本校は、昭和59年に吉田第一小学校と吉田第二小学校が合併して現在の地に開校し、本年度で開校39周年を迎えた、児童数52人の小さな学校です。学区は、東に江戸川、西に中川が流れ、南北に約6km、東西に約3kmあり、とても広がっています。

本校では、目指す学校像を「子供たちの可能性を開花させる学校 ～過去から学び、未来につなげる～」とし、①予測不可能な時代、伝統を継承しつつ、新たな教育の創造を目指し挑戦する学校②子供も教師も学校に来ることが楽しみな学校③子供が伸び伸びと生活できる安心・安全な学校④子供がお互いを尊重し合うことができる学校⑤教師も子供も与えられた課題に真剣に向き合い、やり抜くことができる学校⑥学校・家庭・地域が協働し、共に歩む学校を目指しています。教職員は、「教育のプロ」として、伝統を継承しながらも、時代に即応した新たな教育の創造を目指し、英知を結集して、かけがえのない子供たちのために全力を尽くして子供たちの教育に邁進しています。

(2) 教育目標

みんなと仲良くする子 こつこつ勉強する子 しっかり運動する子

(3) 今年度の研究テーマ

研究主題 「思考力・判断力・表現力を高めるための指導方法の研究」



体育授業研究発表会



そばうち体験



タブレットの活用



学校名	八代小学校	児童数・学級数	63人・8学級
所在地	幸手市平須賀1丁目 14番地	教職員数	13人
校長	富澤 敏夫	創立記念日	昭和29年9月28日
教頭	春山 祐美子	開校記念日	9月28日

(1) 本校の特色

開校70年を迎え、本校は、めざす学校像を『地域に信頼され、活気・自信・誇りがあふれる学校～「真剣・集中」の姿を深化・イノベーション力の育成～』として、予測困難な未来を逞しく生き抜き、活躍できる「人財」育成を根幹とした教育を推進しています。コミュニティスクールとして、学校と家庭と地域とが一体となり、八代の子ども達は八代で育てる活動を展開しています。

① 学力向上のためのチャレンジ

「できた。」「わかった。」「またやりたい」と、児童が学ぶ喜びを実感できる日々の授業実践の積み重ねにより、児童のやる気と自信を育てています。また、昼の時間帯に週4日間15分間のスキルアップタイムを設け、国語・算数の習熟を図り、今日の学びを家庭学習に繋げています。さらに、学びに向かう姿勢【腰骨を立てて学習する・机上の整理整頓等】も意識させながら学習活動に取り組んでいます。

② 心を育てるためのチャレンジ

「家庭でしつけ、学校で学び、地域で磨かれる」八代の子。家庭・地域・学校の共同指導指標「8つの種」で、三者が一体となって子供を育てています。学校では、リーダーとなる機会、友達と協調することを経験できる異年齢集団の活動を行っています。さらに、地域の方々のご指導で田植え・稲刈り、さつまいもや玉ねぎの苗植えや収穫、キウイフルーツの収穫・糖度調べ、手話体験など体験活動を充実させています。

③ 健康へのチャレンジ

業前のチャレンジタイムで子供の体力向上のきっかけをつくっています。地域と合同で開催する運動会では、子供の頑張りを発表しています。昨年度は、埼玉北部学校歯科コンクールにおいて、優秀校の表彰を受けました。

(2) 教育目標

自ら進んで学ぶ子 心豊かで思いやりのある子 ねばり強く健康な子

(3) 今年度の研究テーマ

子どもが夢中になる、「もっと楽しい」体力向上につながる授業の創造
～「やってみよう」「できた」「またやりたい」を実感できる体育科の学習を通して～



水曜日の朝は
【ICTタイム】



地域の方と一緒に
【ニコニコふれあい運動会】



【田植え体験】



学校名	行幸小学校	児童数・学級数	288人・14学級
所在地	幸手市大字円藤内 460番地2	教職員数	24人
校長	栗城 敦志	創立記念日	明治6年4月6日
教頭	市川 史朗	開校記念日	4月15日

(1) 本校の特色

本校は、今年度創立150年を迎えます。全校児童288人は、保護者や地域の皆様の温かい支援のもと、豊かな心を育み、充実した学校生活を送っています。

今年度は、「子ども一人一人のよさを見つけ伸ばす教育」を目指し、「前へ」をキーワードに、教職員・保護者・地域が一つの方向に向かって、チームとして進んでいきます。

日々の教育活動は、一つ一つの授業を大切にするとともに、体験活動の充実も図っていきます。自然との触れ合い活動やゲストティーチャーによる授業等、子どもたちの心に響くような活動を推進していきます。

また、昨年度まで取り組んできた個別支援の在り方やユニバーサルデザインの研究成果を生かし、新たに体力向上と健康の保持増進にも目を向けた教育活動にも力を入れて取り組んでいきます。

(2) 教育目標

○自ら学ぶ子（知） ○明るくやさしい子（徳） ○元気にやりぬく子（体）

○目指す学校像 ～楽しい学校～

○目指す児童像 ～笑顔でやりぬくみゆきっ子～

- ・なりたい自分になる
- ・学ぶことの楽しさを実感する
- ・自分もできる、頑張れる、やりきれる

(3) 今年度の研究テーマ

体力向上と健康の保持増進に主体的に取り組み、

「できるようになった」「伸びた」を実感できる児童の育成

～ ユニバーサルデザインの視点を取り入れて ～



ヤマメから学ぶいのちの授業



山西 実教育長
マナーアップ教室



地域の方から受け継ぐ
郷土芸能クラブ



学校名	長倉小学校	児童数・学級数	470人・19学級
所在地	幸手市大字 下川崎242	教職員数	33人
校長	井上 弘江	創立記念日	昭和50年4月1日
教頭	佐久間 賢一郎	開校記念日	11月2日

(1)本校の特色

本校の特色の1つとして、活発な「異学年交流」が挙げられます。主な活動として「縦割り班」での遊びや話し合い、低学年と高学年による体力テストやなわとび大会などでのペア活動があります。どの活動においても、高学年の子供たちは、低学年の目線に立って考え企画しています。

もう1つの特色として、「読書活動」があります。1年生も入学当初から担任の読み聞かせを楽しみにしています。また、図書委員会が中心となって企画している「読書ビンゴ」では、様々なジャンル名がビンゴのマスの中に書かれており、普段は読まないジャンルの本を手取る良い機会となっています。また、読書の目標冊数を達成すると校長室に行き、校長先生に自分の「おすすめの本」を伝えることも読書の励みの一つとなっています。

今年度も、生き生きと子供たちが活動していけるよう保護者や地域の方と連携して教育活動を進めてまいります。

(2)教育目標

学校教育目標 「たくましく 生きる」

「すすんで勉強する子」「心豊かで思いやりのある子」「健康で粘り強い子」

目指す学校像 「児童・保護者・地域・教職員が誇りとする学校」

- ・児童が明日も学びたい
- ・保護者が通わせたい
- ・地域が応援したい
- ・教職員が勤めたい

(3)今年度の研究テーマ

言語活動を楽しみながら実践で生きて働く「読解力」の育成

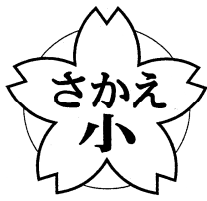
～ 言葉や文章の意味を正確に理解、熟考し、伝え合う力を高める授業を通して ～



縦割り遊び



長縄8の字跳び練習



学校名	さかえ小学校	児童数・学級数	91人・8学級
所在地	幸手市栄2番 90号	教職員数	16人
校長	中沢 朋宏	創立記念日	平成15年4月1日
教頭	中根 政之	開校記念日	6月15日

(1) 本校の特色

本校は、旧栄第一小学校と旧栄第二小学校が統合され、今年度21年目となる学校です。新しい時代を切り拓く、生きる力と心豊かでたくましい人間力をもつ児童を育てることを目標として、全教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいます。本年度は、国語科の指導・支援を要として、児童の読解力を高める指導について研究をしています。また、本物に触れる体験活動を積極的に行い、学びを深め、主体的に生きる力を伸ばしていきます。更に、青少年赤十字活動、ユネスコス쿨の活動を充実させ、児童の心を育てていきます。

本校にはシンボルの木「大王松」があり、その松葉が三本あることから「三鈷松（さんこしょう）」と呼んでいる。学校だよりの名前もこれに由来しています。

(2) 教育目標

「思いやりのある子」 「かしこい子」 「たくましい子」

(3) 今年度の研究テーマ

子どもが社会をよりよく営むために、
読み取る力を身につけられる学習の在り方
～ 国語科の指導・支援を要として ～



シンボルの木
「三鈷松」



ちょボラ活動



JRC登録式



ヒラメの受け入れ式



ヒラメから学ぶ命の学習



デジタルシチズンシップ
アドバンス授業



学校名	さくら小学校	児童数・学級数	410人・15学級
所在地	幸手市大字幸手 72番地	教職員数	29人
校長	岸 千里	創立記念日	平成17年4月1日
教頭	石塚 吉幸	開校記念日	6月6日

(1)本校の特色

本校は、平成17年に旧幸手東小と旧緑台小が統合され、今年度で19年目を迎えました。校訓（合い言葉）「全力」のもと、さくら小の伝統・文化を継承しながらも子供たちにとってよりよいものは取り入れ、チャレンジしていくことを大切にしています。

「学校は学ぶところ 学校は安全なところ 学校は夢を育むところ」という教育理念と行動指針「児童から信頼される教師・保護者から信頼される教育・地域から信頼される学校」に基づき、「笑顔あふれるさくら小」を目指し、教育活動を推進します。

本校の児童は、学校課題の研究成果もあり、体育的活動はもちろん、健康教育、食育にも興味・関心が高められました。さらに、今年度より国語科を課題研究とし、学力の向上にも取り組んでいきます。また、本校は、近隣に公共施設が多く、自然にも恵まれています。保護者はもちろん、地域を生かした体験活動をとおり、故郷に親しみ、誇りを持たせることも目指しています。

(2)教育目標

◎「ふるさと幸手を愛し、志に生きる(児童の育成)」

- かしこい子 【知】 進んで学習する子 人の話をしっかり聞ける子 自分の考えをもち表現できる子
- 心豊かな子 【徳】 相手の気持ちがわかる子 みんなのために働くことができる子 誰とでも話ができる子
- たくましい子 【体】 進んで運動する子 気もちのよいあいさつができる子 バランスのよい食事ができる子

(3)今年度の研究テーマ

研究課題 「生き生きと学び、主体的に取り組む児童の育成」

～ 意欲を育む対話的な学びをとおして ～

研究教科 国語



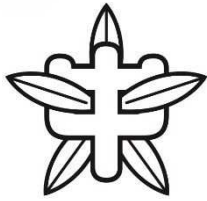
みんなで作る運動会



田植え体験



命の大切さの授業



学校名	幸手中学校	生徒数・学級数	469人・15学級
所在地	幸手市北1丁目 7番4号	教職員数	32人
校長	島方 勝弘	創立記念日	昭和22年4月11日
教頭	酒井 一好	開校記念日	11月1日

(1)本校の特色

本校は創立以来、校是『全力は美なり』を教育活動の基盤とし、学校教育目標「学び続ける生徒」「心豊かな生徒」「活力ある生徒」の具現化を目指し、保護者や地域の皆様の御支援と御協力をいただきながら日々の教育活動を推進しています。目指す学校像として「自ら課題を求め、目標に向かって進んで努力する生徒が集う学校ー地域に信頼され、生徒の自己実現を叶える安心な学び舎をめざしてー」を掲げています。

学習活動では、主体性・自主性をはぐくむ教育活動の展開、学習指導方法の改善、課題解決型学習（PBL）の研究と活用を進め、学力向上を目指します。また道徳教育に重点を置き、「考え、議論する道徳」への質的転換を進めていきます。さらに生徒の活躍の場として「体育祭・たちばな祭・合唱コンクール」、体験的な活動の場として「スキー教室・校外学習・修学旅行・JRC活動（青少年赤十字）」等を予定しています。

(2)教育目標

○ 学び続ける生徒 ○ 心豊かな生徒 ○ 活力ある生徒

(3)今年度の研究テーマ

「人としての生き方についての考えを深め、
よりよく生きる生徒を育てる道徳教育の創造」
ー学習指導要領が求める道徳教育の実践を通してー



車いすバスケ体験



生徒総会



授業（道徳）



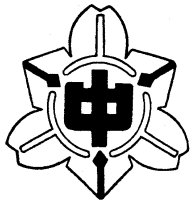
タブレット学習



マナー講座



体育祭



学校名	東中学校	生徒数・学級数	130人・7学級
所在地	幸手市大字平須賀 2912番地3	教職員数	17人
校長	竹内 徳望	創立記念日	昭和53年4月1日
教頭	渡辺 源	開校記念日	6月5日

(1)本校の特色

本校は、生徒数130人、7学級の小規模校です。校舎から望む秀麗な富士山や筑波山の穏やかな山容が見渡せる田園に囲まれた緑豊かな地域にあります。通学区域は広範囲におよび、全生徒が自転車通学をしています。近年、学校周辺の開発に伴う交通量の増加により、交通安全指導には特に力を入れています。

教育の根幹である学力向上への取組として、①各種学力・学習状況調査等の分析結果を踏まえた授業改善、②数学・英語における少人数指導、③家庭学習の充実、④一人一台の端末を活用した主体的な学習の推進、⑤夏季休業中における学習会（サマースクール）など、少人数の強みを生かした学習支援を充実させています。また、特色ある教育活動として、令和2～4年度音楽発表会における「ボディー・パーカッション」、地域ボランティアによる「読み聞かせ」等、コロナ禍にあっても工夫した取組を充実させてきました。今後も、学校・家庭・地域の「絆」を深め、皆が「笑顔」になれる学校づくりを目指してまいります。

(2)教育目標

瑞々しい知性（確かな学力）

- ・ 生きて働く「知識」「技能」を身に付けた生徒
- ・ 自ら課題を見つけ、主体的に学び、判断し、行動できる生徒
- ・ 困難を乗り越え、粘り強く努力できる生徒

麗しい友情（豊かな心）

- ・ 他者への思いやりの心もち、他者と協調・協力できる生徒
- ・ ならぬものはならぬと自らを律することができる生徒
- ・ 感動する心をもつ生徒

逞しい体（健やかな体）

- ・ 自他ともに、命や安全を重んじた行動のとれる生徒
- ・ 健康維持や体力向上に努める生徒

(3)今年度の研究テーマ

【研究主題】 「学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上を目指した授業づくり」



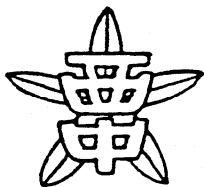
1人1台の端末を活用した授業



道徳科の授業の様子



音楽発表会における
ボディー・パーカッション



学校名	西中学校	生徒数・学級数	580人・18学級
所在地	幸手市大字下川崎 387番地	教職員数	36人
校長	樋口 誠	創立記念日	昭和53年4月1日
教頭	中根 稜	開校記念日	11月2日

(1) 本校の特色

本校は、幸手中学校から分離して昭和53年4月に開校し、今年度で46年目を迎えます。第1回入学式・始業式では、1年生194人、2年生168人、3年生160人、全校生徒522人でスタートしました。その年の秋に、校旗の完成を記念して、11月2日を開校記念日としました。平成9年度には、27クラス全校生徒991人とピークを迎えましたが、その後、減少傾向をたどり、令和5年度は18クラス580人(4月1日現在)となっています。令和4年3月には第45回卒業証書授与式が行われ、これまで総計10473人の卒業生が巣立っています。

校歌にある「アーム ラボール エスペール」と繰り返される言葉は、「愛せ、働け、望め」という意味の国際補助語としての「エスペラント語」で、人類永遠の励ましの言葉です。社会評論家として活躍した幸手市にゆかりのある作詞者、安積得也氏が込めた思いを胸に校歌を歌っています。

(2) 教育目標

「自己実現を目指し、心豊かな人」

- 自ら学ぶ生徒 ○ 思いやりのある生徒 ○ 心身を鍛える生徒

(3) 今年度の研究テーマ

「自ら学ぶ生徒の育成

校是「流汗拓道」

～ 生徒が一人残らず50分間学び続ける授業づくり ～

研究の重点

- ① 「学びの共同体の考えのもと、授業における四人班での共同的な学び合い学習を取り入れた授業改善に関わる研究
- ② 授業規律や協同的な学び合いを行う上での人間関係づくり、効果的な学習環境についての研究



充実した学びの環境



外部講師を招いての
教職員の授業力向上研修



コロナ対策を徹底した
学校行事

幸手市中央公民館

(幸手市勤労青少年ホーム・
幸手中央地区市民センター併設)

所在地 幸手市緑台2丁目1番7号

電話 (42)5156 FAX (42)5800

開設 昭和48年7月1日



1. 施設

(1) 敷地面積 3,049 m²

(2) 延床面積 1,469 m²

(3) 施設概要

1階 (中央公民館)

会議室2室、和室2室、視聴覚室、
講座室、クラブ室等

2階 (勤労青少年ホーム)

体育室、音楽室、集会室、料理室、
講習室、談話コーナー等

幸手市西公民館

(幸手市西農村文化センター・
幸手西地区市民センター併設)

所在地 幸手市大字千塚117番地

電話 (43)0881 FAX (43)0881

開設 昭和60年1月9日



1. 施設

(1) 敷地面積 4,510 m²

(2) 延床面積 1,017 m²

(3) 施設概要

(西公民館)

1階 会議室、クラブ室等

図書コーナー、ゲートボール場

2階 講座室2室、視聴覚室等

(西農村文化センター)

1階 和室2室、大会議室、

料理講習室等

幸手市北公民館

(幸手北地区市民センター併設)

所在地 幸手市大字内国府間867番地

電話 (42)6221 FAX (42)6221

開設 昭和62年5月1日



1. 施設

(1) 敷地面積 5,590 m²

(2) 延床面積 1,189 m²

(3) 施設概要

レクリエーションホール (舞台併設)

・402名収容可能。

可動式の座席を収納してフロア、
ホールとして利用可。

会議室、講座室、音楽室、和室2室

図書コーナー等

幸手市南公民館

(幸手南地区市民センター併設)

所在地 幸手市大字上高野 1 1 9 4 番地

電話 (43)6053 FAX (43)6053

開設 昭和 63 年 6 月 1 日



1. 施設

(1) 敷地面積 5,056 m²

(2) 延床面積 1,354 m²

(3) 施設概要

1階

児童室、会議室、講座室、体育室
(バレーボール1面またはバドミントン
2面使用可)、図書コーナー等

2階

和室、料理実習室、クラブ室
美術工芸室等

幸手市東公民館

(幸手東地区市民センター併設)

所在地 幸手市大字下宇和田 5 8 番地 6

電話 (48)0013 FAX (48)0013

開設 平成 3 年 5 月 27 日



1. 施設

(1) 敷地面積 7,298 m²

(2) 延床面積 1,248 m²

(3) 施設概要

集会室 (150人収容可能)
準備室、会議室、講座室、
料理実習室、和室2室、
図書コーナー等

幸手市立図書館

所在地 幸手市緑台 2 丁目 5 番 2 5 号

電話 (42)0169 FAX (44)0536

開設 昭和 57 年 7 月 1 日



1. 施設

(1) 敷地面積 4,392 m²

(2) 延床面積 1,460 m²

(3) 施設概要

一般書、児童書コーナー、学習室
(蔵書数 177,563 冊【R5.3.31 現在】)

2. 事業

図書の貸し出しや閲覧に加え、講座やブックスタート事業、セカンドブックスタート事業や乳幼児・児童を対象とした「お話し会」などを実施しています。

幸手市立図書館香日向分館

所在地 幸手市香日向4丁目5番1号

電話 (42)8877 FAX(42)8877

開設 平成27年2月12日



1. 施設

旧香日向小学校の1階部分を利用し、平成27年2月に開館しました。

(1) 延床面積 557 m²

(2) 施設概要

一般書、児童書コーナー、学習室、
談話室

(蔵書数 24,983冊【R5.3.31現在】)

2. 事業

カフェラウンジでコーヒーを飲みながら読書を楽しめるほか、談話室や学習室を設け、地域の憩いの場として活用されています。

幸手市郷土資料館

所在地 幸手市大字下宇和田58番地4

電話 (47)2521 FAX(47)2521

開設 平成30年10月23日



1. 施設

(1) 敷地面積 5,065 m²

(2) 延床面積 2,205 m²

(3) 施設概要

歴史展示室、民具資料展示室、資料収蔵室

2. 事業

郷土についての歴史、考古及び民俗に関する資料等の収集、保存、調査及び研究を行うとともに、その活用を図り、市民の歴史及び文化に対する理解を深め、郷土文化の振興に資するため、資料の展示公開のほか、講座や体験学習等を実施しています。

幸手市民文化体育館

所在地 幸手市大字平須賀2380番地1

電話 (48)0048 FAX (48)2828

開設 平成7年1月5日



1. 施設

(1) 敷地面積 26,865.04 m²

(2) 延床面積 10,521.39 m²

(3) 施設概要

① メインアリーナ 2,050 m²

② さくらホール 1,070 m²

(舞台 15m×35.8m 観客席 1,199席)

2. 事業

市民レベルの各種大会のほか、全国規模の大会も開かれるスポーツ施設のメインアリーナとコンサートやミュージカル、文化祭など文化活動の舞台となるさくらホール等からなる複合施設として利用されています。

幸手市立武道館

所在地 幸手市大字幸手1957番地1
電話 (43)0190 FAX (43)0190
開設 昭和59年4月1日(武道館)
平成3年5月11日(弓道場)



1. 施設

- (1) 敷地面積 1,920 m²
- (2) 施設概要
 - ① 柔道場 1F 707 m² 2面
 - ② 剣道場 2F 616 m² 2面
 - ③ 弓道場 272 m² 6人立

2. 事業

柔道・剣道・空手道・弓道の市民体育大会や中学校体育連盟の大会等が開催されています。

幸手市B&G海洋センター

所在地 幸手市大字木立1779番地3
電話 (48)0220 FAX (48)5178
開設 昭和57年4月1日



1. 施設

- (1) 敷地面積 9,003 m²
- (2) 建物面積 1,102 m²
- (3) 施設概要
 - ①アリーナ バレーボールコート 2面
バドミントンコート 3面
 - ②ミーティングルーム

2. 事業

バレーボール・卓球・インディアカ・ミニテニスの大会等が開催されています。

幸手総合公園

(陸上グラウンド・庭球場)

所在地 幸手市大字木立1779番地1
電話 —
開設 昭和62年4月1日



(陸上グラウンド)

- (1) 敷地面積 24,000 m²
- (2) 施設概要
 - ① 陸上グラウンド
トラック 一周 400m 7レーン
直線 100m 8レーン
 - ② サッカーコート (天然芝)

(庭球場)

- (1) 敷地面積 4,500 m²
- (2) 施設概要
 - 全天候型 6面
 - (夜間照明設備 3面)

ひばりヶ丘球場

所在地 幸手市大字木立1929番地

電話 (48)2250 FAX (48)0865

開設 平成4年6月1日



1. 施設

(1) 施設概要

- ① グラウンド 11,880 m²
(両翼 92m・中堅 120m)
- ② メインスタンド (3階建) 2177.88 m²
観客席 椅子席 1,460人
芝生席 約3,000人

2. 事業

硬式・軟式野球や少年野球の大会等の他、軟式・少年野球審判講習会が開催されています。

その他、一般の野球愛好者にもナイター等で利用されています。

神扇グラウンド

所在地 幸手市大字神扇273番地

開設 平成13年4月15日



1. 施設

(1) 敷地面積 19,370 m²

(2) 施設概要

- ① 野球グラウンド 2面
- ② その他多目的利用

2. 事業

市民体育大会ソフトボール大会、少年野球大会等が開催されています。

幸手市少年サッカー場

所在地 幸手市大字神明内184番地

開設 昭和62年4月1日



1. 施設

(1) 敷地面積 8,112 m²

(2) 施設概要

- ① サッカー場 1面
- ② 管理棟 1棟

2. 事業

幸手市スポーツ少年団のサッカー大会等が開催されています。

資 料 編



◆ 幸手市の歴史

現在の幸手市の大半は沖積低地だが、縄文時代には奥東京湾がここまで入り込んでいた。東端の槇野地地区だけは下総台地の上に立地しているため、縄文時代からの集落や貝塚が確認されている。弥生時代になると海岸線は現在とほぼ同じ所まで後退し、今の市街地あたりにも集落ができ始めたと考えられる。

中世前半には市域は下河辺荘に属した。後半には古河公方の家臣一色氏が支配したとみられ、幸手駅周辺に幸手城が築かれた。なお、一色氏は鎌倉の荏柄天神社を信仰し、そのため市域には一色五天神が残る。

江戸時代、徳川氏の関東入国以降、江戸に幕府を開くと一色氏は領地替えとなり、市域のほとんどが幕府の直轄地（天領）となったが、東部地域の村々は関宿藩領だった。関宿城に近い花島、槇野地、関宿向河岸、関宿向下河岸は、永く関宿藩領であったが、元禄検地以後、多くの旗本が市域に領地を与えられた。また、当時の幸手は、日光道中の宿場町・幸手宿で、日光御成道が上高野村で合流、さらには宿内で日光御廻り道（今の妙観横町）、外国府間村で筑波道が分岐するという陸上交通の拠点として大いに栄えた。

一方、江戸幕府が進めた「利根川東遷事業」で、関東郡代伊奈氏による河川の改修や開削工事の結果、赤堀川・江戸川・権現堂川・逆川が整備され治水が安定するとともに、北側・中郷・南側の幸手領三用水や葛西用水など用排水路が整備されていった。結果、多くの新田が開発され、惣新田や神扇などの新田村落が生まれ、耕地が飛躍的に増加、米を中心とする市域の産物は、江戸幕府の財政経済や江戸の町の人々の生活を支えた。また、権現堂川や江戸川、利根川を利用した船便が江戸や太平洋まで連絡していたため、市域の権現堂河岸、関宿向河岸・関宿向下河岸には物資を川船で運送する船問屋が軒を並べ活況を呈した。年貢米のほか多くの商品が川を行き交い、河岸は交通、運輸や商業、文化の拠点として幸手に活気をもたらした。

明治維新後、明治元年8月市域の村々は下総知県事の管轄となり、同2年には葛飾県が設置され、大小区が置かれ幸手宿は甲第14区となった。同4年には埼玉県へ所属が替わり第7区となり、明治7年に右馬之助町・久喜町・仲町・荒宿・牛村が合併し幸手宿となった。その後、中島・花島・槇野地・細野が同8年、関宿向河岸・関宿向下河岸が同28年にそれぞれ千葉県から埼玉県に編入された。

明治22年に町村制が施行され、幸手町が誕生した。そして、第2次世界大戦後、昭和29年、同30年及び同31年の行幸村、上高野村、吉田村、権現堂川村、八代村、桜田村（一部）、豊岡村（一部）との合併分離を経て、同61年市制を施行した。平成28年10月1日、市制施行30周年を迎えた。

◆ 幸手市の地勢・人口

1 位 置

埼玉県の北東端に位置し、茨城県・千葉県の両県に接している。

東 経 139度43分

北 緯 36度04分

海 抜 4.7m（戸島）～

15.9m（外国府間）

2 地 形

中川水系に属し、中川低地と下総台地から形成されている。

東西の長さ 8.86km

南北の長さ 7.62km

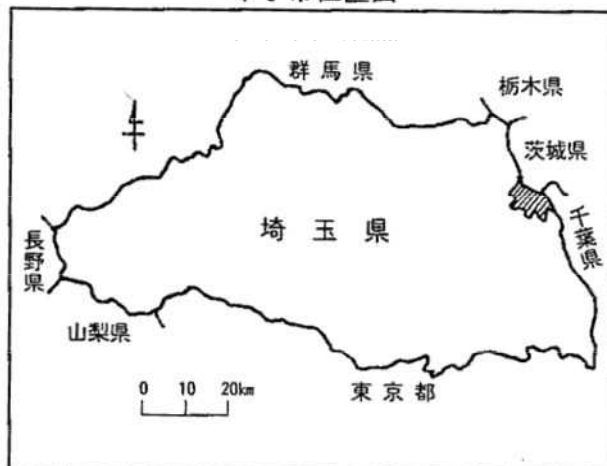
面 積 33.93km²

3 人 口 49,287人

世 帯 数 23,201世帯

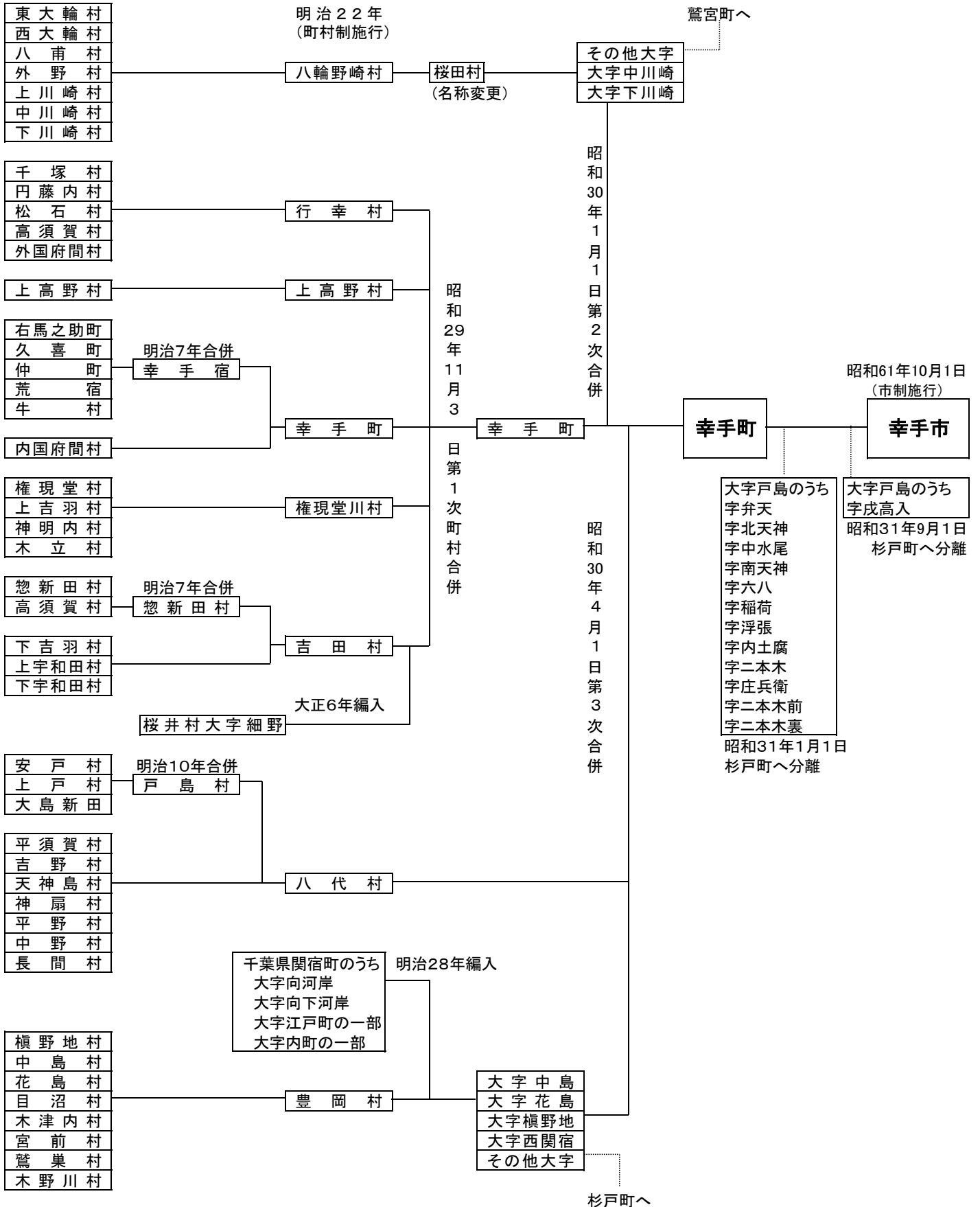
（令和5年5月1日現在）

幸手市位置図



◆ 幸手市の変遷

明治4年



◆ 幸手市教育委員会沿革

昭和 23. 7. 15	教育委員会法公布・施行 都道府県と市町村に教育委員会を設置することとなる。
24. 5. 19	教育委員会法改正、地方教育委員会設置は昭和 27 年まで延期される。
27. 10. 5	旧幸手町、上高野村、行幸村、権現堂川村、吉田村各町村において、教育委員会の選挙を実施 翌日公選委員決定
10. 21	議会選出の委員選定
11. 1	幸手町教育委員会が発足 委員定数、公選委員 4、議会選出委員 1 幸手町立幸手小学校、幸手中学校、図書館、管轄下に入る。
29. 11. 3	幸手町、上高野村、行幸村、権現堂川村、吉田村を合体合併して新たに幸手町とする 教育委員会も同時に合併される。 合併により上高野小学校、行幸小学校、権現堂川小学校、吉田第一小学校、吉田第二小学校、上高野中学校、行幸中学校、吉田中学校、権現堂川中学校、管轄下に入る。 幸手中学校他 1 ケ村立（豊岡村）中学校組合設立 組合に教育委員会を置く、委員 5 名
30. 1. 1	桜田村大字中川崎、下川崎を編入
3. 31	幸手町他 1 ケ村立中学校組合を解散
4. 1	八代村、および豊岡村大字西関宿、中島、花島、槇野地を編入 合併により、八代小学校、八代中学校、管轄下に入る
31. 6. 30	地方教育行政の組織及び運営に関する法律公布、一部施行
7. 1	幸手教科書センター開設
9. 30	教育委員会法廃止 全委員辞任
10. 1	地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行に伴い、新たに委員を任命する
33. 3. 31	幸手中学校に吸収統合により行幸中学校廃止
35. 3. 31	幸手中学校に吸収統合により上高野中学校、権現堂川中学校廃止
38. 4. 1	幸手町社会教育委員設置 幸手町体育指導委員設置
47. 4. 1	幸手町文化財保護審議委員設置 幸手町文化財専門調査委員設置
12. 1	幸手町立栄第一小学校設置
48. 7. 1	幸手町中央公民館を新築開館（併せて県立幸手勤労青少年ホーム管理運営開始）
49. 6. 25	幸手町学区審議会設置
50. 4. 1	幸手町長倉小学校設置
6. 30	幸手町学区審議会廃止
7. 1	幸手町教育審議会設置
9. 16	幸手町就学指導委員会設置
51. 4. 1	幸手町立栄第二小学校設置 幸手町立栄中学校設置
52. 4. 1	幸手町スポーツ振興審議会設置
53. 3. 31	幸手町立吉田中学校、八代中学校、統合により廃止
4. 1	幸手町立幸手東小学校、西中学校、東中学校設置
7. 1	幸手町社会教育指導員設置

54. 3. 30	幸手町立吉田幼稚園設置
55. 4. 1	事務局に課を設置する（総務課・学校教育課・社会教育課）
56. 4. 1	幸手町運動広場設置（ソフトボールグラウンド4面・テニスコート6面）
9. 17	学校開放施設上高野小学校に夜間照明設備設置
57. 4. 1	幸手町立緑台小学校設置
4. 1	B&G 幸手海洋センター管理運営開始（体育館・プール）
5. 1	幸手町教育相談室設置
7. 1	幸手町立図書館を新築移転
7. 1	幸手町立図書館協議会設置
8. 31	学校開放施設幸手東小学校に夜間照明設備設置
59. 3. 31	吉田第一小学校、吉田第二小学校、統合により廃止
4. 1	幸手町立吉田小学校設置
4. 1	幸手町立武道館設置
59. 9. 1	吉田第二小学校舎を改装、吉田幼稚園とする
60. 1. 9	幸手町西公民館を新築開館
4. 1	幸手町立権現堂川小学校を新築移転
61. 4. 1	事務局に体育課を新設する
7. 1	上吉羽中央公園テニスコートに夜間照明設備設置
9. 30	幸手町運動公園広場廃止
10. 1	市制施行により、幸手市教育委員会となる
12. 18	市史編さん委員会設置
62. 4. 1	幸手市少年サッカー場設置
4. 1	幸手市北公民館設置
4. 1	幸手勤労者体育センター管理運営開始（多目的グラウンド・テニスコート）
63. 4. 1	幸手市南公民館設置
平成 2. 4. 1	幸手市立香日向小学校設置
3. 4. 1	幸手市東公民館設置
5. 11	幸手市立武道館に弓道場を設置
7. 1. 5	幸手市民文化体育館（アスカル幸手）を設置
9. 4. 1	県立幸手勤労青少年ホームが幸手市に移管
12. 3. 10	幸手市栄中学校プール設置
5. 28	幸手市教育審議会設置
13. 4. 15	神扇グラウンド設置
15. 3. 31	幸手市立栄第一小学校、栄第二小学校、統合により廃止
15. 4. 1	幸手市立さかえ小学校設置
17. 3. 31	幸手市立幸手東小学校、緑台小学校、統合により廃止
4. 1	幸手市立さくら小学校設置
18. 10. 10	幸手市教育審議会設置
19. 4. 1	生涯学習課と体育課が統合し、生涯学習課となる
20. 4. 1	事務局に施設管理課を新設
20. 7. 31	幸手市教育審議会設置

21. 3. 31	幸手市立栄中学校、統廃合により廃止
4. 1	事務局の施設管理課を廃止し、市民スポーツ課を新設
22. 11. 5	全小中学校の校舎・屋内運動場の耐震化工事完了
24. 3. 31	幸手市立香日向小学校、統廃合により廃止
25. 4. 1	生涯学習課と市民スポーツ課が統合し、社会教育課となる
27. 2. 12	幸手市立図書館香日向分館開館
4. 1	地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行に伴い、委員長職が廃止となり、新教育長が任命される
10. 1	幸手市教育委員会委員定数条例により、委員の定数が4人から5人に増員される
28. 4. 1	社会教育課から体育振興担当を分離しスポーツ振興課を新設
4. 1	各公民館に地区市民センターを併設
29. 1. 19	幸手市教育審議会設置
29. 7. 1	全小中学校の教室にエアコンを整備
30. 4. 1	学校教育課が指導課となる
4. 1	社会教育課にスポーツ振興課が統合され、社会教育課となる
4. 1	中央公民館館長、南公民館館長に非常勤特別職が就任
30. 10. 23	幸手市郷土資料館開設
31. 4. 1	西公民館館長に非常勤特別職が就任
令和 2. 4. 1	中央公民館館長、西公民館館長、北公民館館長、南公民館館長、東公民館館長に会計年度任用職員が就任
2. 12. 1	全小中学校に高速大容量通信に対応した校内ネットワークを整備
3. 3. 1	全小中学校の全児童・生徒に1人1台のタブレット端末を整備
4. 1	指導課が学校教育課となる
4. 3. 31	幸手市立吉田幼稚園廃止
4. 6. 7	幸手市教育審議会設置

◆ 歴代教育委員

S:昭和 H:平成 R:令和

氏名	教育長		教育長職務代理者		教育委員		教育委員長	
	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日
今井 幹明					S31.10.1	S34.9.30	S31.10.1	S34.6.4
石井欣兵衛					S31.10.1	S34.9.30	S31.6.29	S34.9.30
篠崎 一彦					S31.10.1	S35.9.30		
対間 連					S31.10.1	S36.9.30		
広川 礼順	S31.10.1	S33.9.30			S31.10.1	S33.9.30		
殿塚 長次					S33.12.23	S34.6.4		
中村 孝作					S34.11.1	S35.9.30	S34.11.7	S35.9.30
小森谷泰二	S34.11.15	S49.12.22			S34.11.1	S49.12.22		
丸山茂一郎					S34.11.1	S38.4.25	S35.10.10	S38.4.25
新井 浩					S35.10.1	S47.9.30		
高柳 秀夫					S35.10.1	S47.9.30	S43.11.9	S46.12.17
深井 良助					S35.10.1	S38.12.2		
荒川 涉					S38.6.17	S46.10.31	S38.7.2	S43.11.7
青木 進					S39.2.1	S48.8.30		
金井 徹三					S46.11.1	S53.8.31	S46.12.28	S50.10.30
							S51.6.22	S52.4.4
岡安 延寿					S47.10.1	S51.9.30		
喜多村政蔵					S47.10.1	S51.5.7	S50.11.8	S51.5.7
川島 一桃					S48.10.1	S56.9.30		
竹村 易男	S49.12.26	S53.12.25			S49.12.26	S53.12.25		
新井耕太郎					S51.6.19	S56.3.31	S52.4.6	S53.3.31
新井 愿					S51.10.1	S59.9.30	S56.4.14	S59.9.30
飯田 豊	S54.1.11	H6.12.25			S53.12.26	H6.12.25		
滝原征一郎					S53.12.26	H5.5.21	S59.10.12	S62.10.23
高浜 彰男					S56.4.11	H20.9.30	S62.10.30	H20.9.30
白石 良三					S56.12.22	S58.11.30		
遠藤久喜雄					S59.1.26	H9.12.21		
小林 秀夫					S59.10.1	H12.9.30		
石井 澄江			H27.4.1	H27.10.31	H5.7.26	H27.10.31	H20.10.1	H24.9.30
千葉 金二	H6.12.26	H10.12.25			H6.12.26	H10.12.25		
	H11.4.1	H15.3.31			H11.4.1	H15.3.31		
石塚 順子					H9.12.22	H13.12.21		
高橋 悦一					H12.10.1	H20.9.30		
梨本 松男					H13.12.22	H27.3.31	H24.10.1	H27.3.31
柴田 幸雄	H15.4.1	H17.9.30			H15.4.1	H17.9.30		
戸田 幸男	H18.4.2	H26.4.7			H18.4.2	H26.4.7		
若林 繁					H20.10.1	H24.9.30		
新島 育郎					H20.10.1	H24.9.30		
巻島 幸男					H24.10.1	H26.10.31		
赤川 昌行			H27.11.1	H28.12.2	H24.12.3	H28.12.2		
山西 実	H26.4.8	H27.3.31			H26.4.8	H27.3.31		
	H27.4.1	H30.3.31						
	H30.4.1	R3.3.31						
	R3.4.1							
深作 昭美					H26.12.1	H28.9.30		
尾島 紗緒里			H30.10.1	R2.4.30	H27.9.1	R3.9.30		
中根 政美			H28.12.3	H30.9.30	H27.10.1	H30.9.30		
前田 一郎					H27.12.1	R1.9.30		
満木 信吉					H28.10.1	R2.9.30		
齊藤 一夫					H28.12.3	R2.9.30		
会田 研司			R2.5.1		H30.10.1			
岩崎 万紀子					R2.6.1			

氏名	教育長		教育長職務代理者		教育委員		教育委員長	
	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日
高島 勝也					R 2. 10. 1			
藤沼 寛次					R 2. 10. 1			
古沢 万友実					R 3. 10. 1			

◆ 附属機関等

機 関 名	職 務	所 管 課	定 数	任 期
幸手市教育審議会	教育委員会の諮問に応じて市における教育、文化に関する重要施策について調査審議し、これに答申する	総務課	20人以内	2年
幸手市就学支援委員会	障害のある児童・生徒・就学予定者の発達診断、教育上必要な措置の適正化を図る	学校教育課	24人以内	1年
幸手市児童・生徒体力向上推進委員会	児童・生徒の体力向上を推進するための事業を実施すること	学校教育課	16人	1年
幸手市いじめ問題対策連絡協議会	いじめ防止基本方針の策定及び推進・いじめ問題に関する施策の推進及び調整・いじめ問題の解決に関することを審議する	学校教育課	25人以内	2年
幸手市いじめ問題調査委員会	いじめの重大事態が発生したときに、教育委員会の諮問に応じて、当該重大事態に係る事実関係・教育委員会が執るべき措置等を調査審議する	学校教育課	7人以内	2年
学校医・学校歯科医・学校薬剤師	学校における保健管理に関する専門的事項に関し、技術・指導に従事すること	総務課	37人	2年
幸手市社会教育委員	社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に応じ調査研究し意見を述べること	社会教育課	10人	2年
幸手市文化財保護審議会	教育委員会の諮問に応じ文化財の指定・解除・買収・出品公開・指定文化財の措置・保全、埋蔵文化財、無形文化財について建議すること	社会教育課	15人以内	2年
幸手市スポーツ推進委員	スポーツの実技指導、スポーツ活動の促進・組織の育成、教育機関・団体が行うスポーツ行事・事業への協力等スポーツ振興のための指導助言をすること	社会教育課	32人以内	2年
幸手市立図書館協議会	図書館長の諮問に応じ、図書館奉仕について館長に対して意見を述べること	社会教育課	10人以内	2年
幸手市公民館運営審議会	公民館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施につき調査審議すること	社会教育課	20人以内	2年
幸手市青少年問題協議会	青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的な施策の樹立について調査審議し適切な実施のために関係行政機関との連絡調整を図るとともに意見を述べること	社会教育課	20人以内	2年

◆ 学校等の概要

(1)小学校

令和5年5月1日

No.	学校名	教職員数					児童・生徒数(下段 特別支援学級)							学級数(下段 特別支援学級)						
		教員	栄養	事務	用務	給食	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
1	幸手小	23		1			30	46	44	48	41	42	251	1	2	2	2	2	2	11
								4	2	2		3	11							
2	権現堂川小	12		1			7	7	10	7	11	10	52	1	1	1	1	1	1	6
								1	1	1		3	3							
3	上高野小	22		1			45	56	49	42	48	46	286	2	2	2	2	2	2	12
								1	3	2	2	1	9							
4	吉田小	9		1			9	9	9	7	11	4	49	1	1	1	1	1	1	6
								1	1		1		3							
5	八代小	12		1			8	10	10	8	15	9	60	1	1	1	1	1	1	6
											2	1	3							
6	行幸小	22		2			36	55	39	52	32	65	279	2	2	2	2	1	2	11
								4	2	3		9	9							
7	長倉小	30	1	2			60	63	87	67	82	91	450	2	2	3	2	3	3	15
							5	4	3	4	2	2	20							
8	さかえ小	15		1			8	8	18	16	17	15	82	1	1	1	1	1	1	6
									1	3	3	2	9							
9	さくら小	27	1	1			53	67	68	63	75	67	393	2	2	2	2	2	2	12
							2	2	3	4	1	5	17							
合 計		172	2	11			256	321	334	310	332	349	1,902	13	14	15	14	14	15	85
							7	17	16	19	11	14	84							

(2)中学校

No.	学校名	教職員数					児童・生徒数(下段 特別支援学級)							学級数(下段 特別支援学級)						
		教員	栄養	事務	用務	給食	1年	2年	3年				合計	1年	2年	3年				合計
1	幸手中	31		1			157	153	143				453	4	4	4				12
							6	3	7				16							
2	東中	16		1			42	35	47				124	2	1	2				5
								6					6							
3	西中	34	1	1			189	203	176				568	5	6	5				16
							4	2	6				12							
合 計		81	1	3			388	391	366				1,145	11	11	11				33
							10	11	13				34							

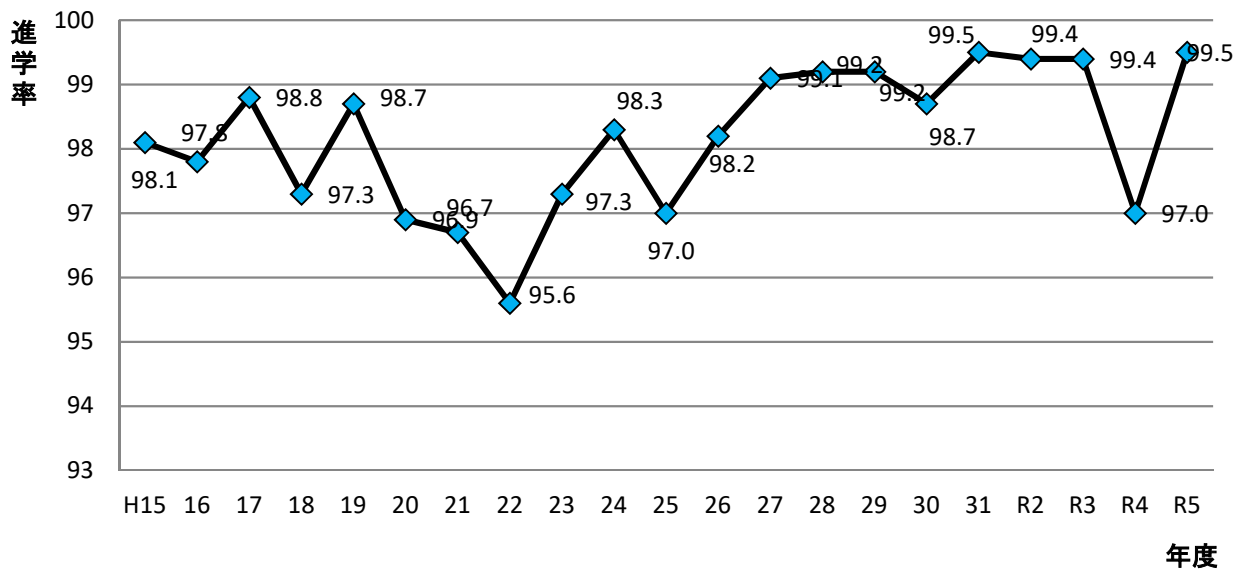
年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
小学校	学級数	103	103	101	98	99	99	102	96	94	94	101	104	106	108	110	108	105	106	106
	児童数	2,745	2,608	2,576	2,515	2,478	2,491	2,482	2,456	2,402	2,378	2,367	2,335	2,379	2,353	2,300	2,232	2,188	2,132	1,986
中学校	学級数	45	45	42	42	41	40	40	39	38	41	40	40	40	38	36	36	40	40	40
	生徒数	1,479	1,463	1,384	1,386	1,346	1,293	1,248	1,192	1,205	1,191	1,177	1,166	1,158	1,136	1,089	1,077	1,101	1,139	1,179

資料:学校基本調査

◆ 令和5年3月中学校卒業者の進路状況

進路状況				男	女	計	
進学	高等学校	全日制	県内	国立	0	0	0
			公立	140	125	265	
			私立	22	29	51	
		県外	国立	0	0	0	
		公立	0	0	0		
		私立	8	5	13		
	定時制				5	0	5
	通信制				9	13	22
	高等専門学校				0	1	1
	特別支援学校				4	1	5
	小計				188	174	362
就職・その他	専修学校・各種学校等				0	0	0
	公共職業訓練施設等				0	0	0
	就職				0	0	0
	その他				0	2	2
	小計				0	2	2
合計(卒業生数)				188	176	364	

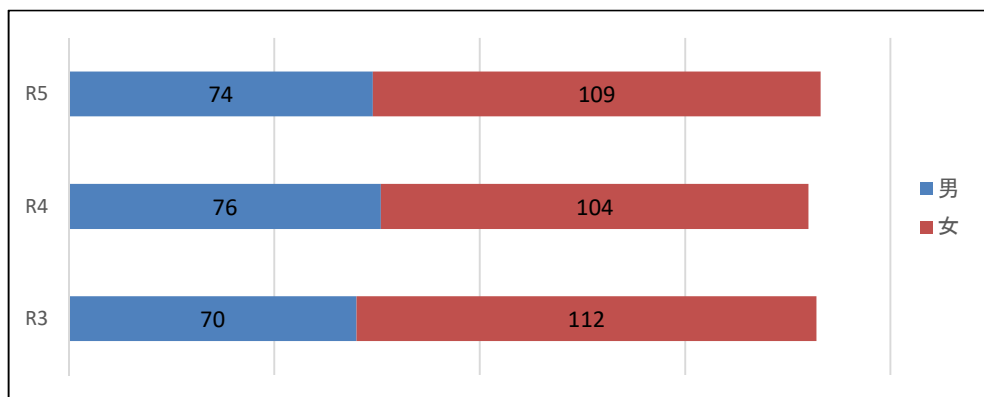
◆ 進学者の推移



◆ 教職員数の推移

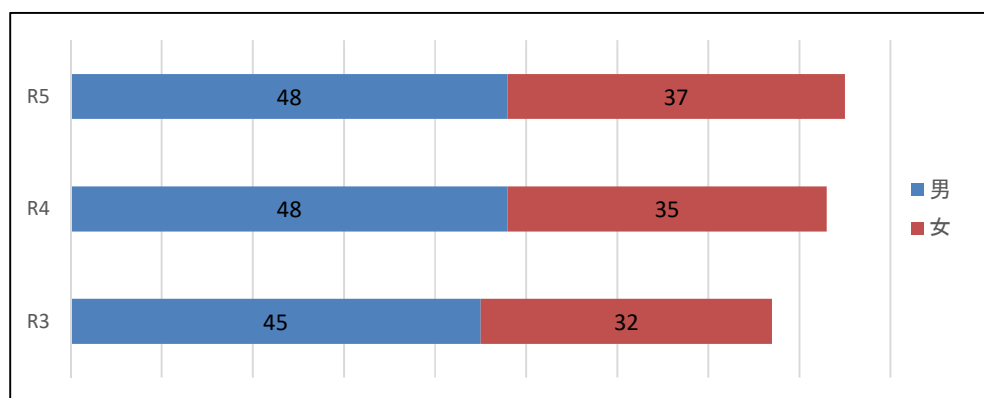
(1) 小学校

単位(人)



(2) 中学校

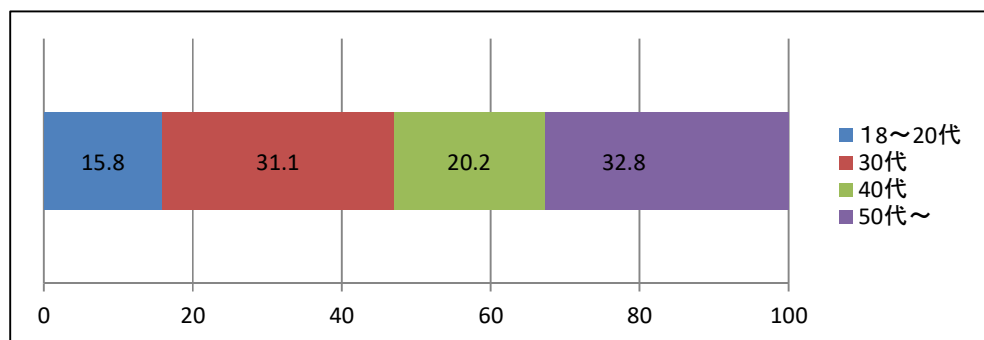
単位(人)



◆ 教職員の年齢構成

(1) 小学校

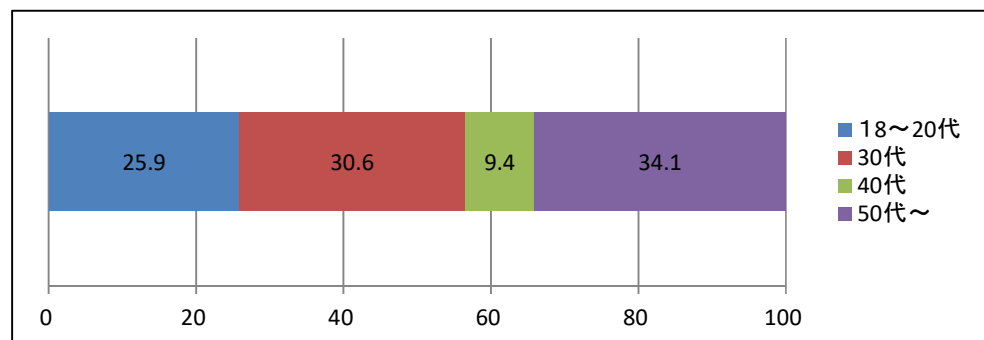
単位(%)



平均
42.7歳

(2) 中学校

単位(%)



平均
37.9歳

◆ 学校給食

(1)実施状況

①小学校

No	学 校 名	給 食 開始日	開始時期の 給 食 区 分	現行形態 開始時期	現行給食 区 分	給食費 月 額	現行給食費 実 施 日	備 考
1	幸 手 小	S32. 1. 21	補 食	S43. 12. 16	完 全	4, 600	R5. 4. 1	自校調理方式
2	権 現 堂 川 小	S38. 10. 1	ミ ル ク	S43. 3. 1	〃	〃	〃	〃
3	上 高 野 小	S38. 10. 1	〃	S39. 4. 20	〃	〃	〃	〃
4	吉 田 小	S59. 4. 10	完 全		〃	〃	〃	〃
5	八 代 小	S38. 10. 1	ミ ル ク	S40. 3. 9	〃	〃	〃	〃
6	行 幸 小	S35. 3. 1	完 全		〃	〃	〃	〃
7	長 倉 小	S50. 5. 8	〃		〃	〃	〃	〃
8	さ か え 小	H15. 4. 11	〃	H15. 4. 11	〃	〃	〃	〃
9	さ く ら 小	H17. 4. 11	〃	H17. 4. 11	〃	〃	〃	〃

②中学校

No	学 校 名	給 食 開始日	開始時期の 給 食 区 分	現行形態 開始時期	現行給食 区 分	給食費 月 額	現行給食費 実 施 日	備 考
1	幸 手 中	S38. 10. 1	ミ ル ク	S59. 11. 25	完 全	5, 230	R5. 4. 1	自校調理方式
2	東 中	S55. 4. 17	〃	S57. 10. 20	〃	〃	〃	〃
3	西 中	S53. 4. 17	〃	S58. 11. 1	〃	〃	〃	〃

(2)年間実施回数(完全給食)

区 分		給食回数		米 飯	めん類	パン類	牛 乳
		年間	週当り	自校自炊			
令和4年度 3学期制	小	184	5	117	30	37	184
	中	180	5	114	30	36	180
令和5年度 3学期制 (4月当初)	小	188	5	124	17	47	188
	中	184	5	122	17	45	184



(3) 1人1食当たりの平均栄養摂取状況

		熱量	たん白質	脂質	鉄	カルシウム	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	
		kcal	g	g	mg	mg	μgRE	mg	mg	mg	g	
令和4年度	小	652	25.2	21.9	3.1	348	239	0.47	0.52	34	4.2	
	中	815	31.1	26.5	3.9	395	290	0.59	0.59	37	5.4	
令和5年 6月予定	小	658	25.6	21.5	3.2	350	211	0.46	0.48	29	4.2	
	中	833	31.9	26.4	4.5	424	248	0.59	0.55	33	5.3	
基準 栄養量 (文科省) R3.2.12付 一部改正	小学校	低学年	530	21.2	14.7	2.0	290	160	0.30	0.40	20	4以上
		中学年	650	26.0	18.1	3.0	350	200	0.40	0.40	25	4.5以上
		高学年	780	31.2	21.7	3.5	360	240	0.50	0.50	30	5以上
	中学校	830	33.2	23.1	4.5	450	300	0.50	0.60	35	7以上	

(4)献立例

小学校



メニュー名

- ・ お茶とお米の食パン(幸手市のお米使用)
- ・ 鶏肉のお茶焼き
- ・ さくらパスタのサラダ
- ・ 米粉のクラムチャウダー
- ・ 牛乳

中学校



メニュー名

- ・ ちらし寿司
- ・ 春キャベツのハンバーグ
- ・ 花咲かサラダ(ABCマカロニ)
- ・ 筍のかきたま汁
- ・ 三色ゼリー

◆ 指定文化財及び刊行物

(1) 県指定文化財

No.	名 称	所 在 地	種 別	指定年月日
1	幸手義賑窮餓之碑	北1-10-3	史 跡	昭和14年3月31日

(2) 市指定文化財

No.	名 称	所 在 地	種 別	指定年月日
1	橘守部の書	大字下宇和田58-4	有形文化財書跡	昭和58年3月24日
2	マリア地蔵	大字権現堂175	有形民俗文化財	昭和58年3月24日
3	下川崎石投げ踊り	大字下川崎香取神社	無形民俗文化財	昭和58年3月24日
4	千塚ささら獅子舞	大字千塚千塚神社	無形民俗文化財	昭和58年3月24日
5	松石ささら獅子舞	大字松石香取神社	無形民俗文化財	昭和58年3月24日
6	高須賀大杉ばやし	大字高須賀大杉神社	無形民俗文化財	昭和58年3月24日
7	将門の首塚	大字神明内1470	史 跡	昭和58年3月24日
8	順礼の碑	大字内国府間権現堂堤	史 跡	昭和58年3月24日
9	日光街道道しるべ	大字外国府間626地先	史 跡	昭和58年3月24日
10	御成街道道しるべ	大字上高野3065-5地先	史 跡	昭和58年3月24日
11	行幸堤・権現堂堤	大字内国府間桜堤上	名 勝	昭和58年3月24日
12	聖福寺勅使門	北1-9-27	有形文化財建造物	平成3年4月1日
13	幸宮神社本殿の彫刻	中4-11-30	有形文化財彫刻	平成3年4月1日
14	円空仏	大字千塚727	有形文化財彫刻	平成3年4月1日
15	権現堂堤修復絵馬	北3-10-19	有形民俗文化財	平成3年4月1日
16	吉羽家文書	大字外国府間369	有形文化財古文書	平成10年4月1日
17	岸本家文書	中2-1-9	有形文化財古文書	平成10年4月1日
18	巻島家文書	北3-9-27	有形文化財古文書	平成10年4月1日
19	紙本墨書 大般若波羅蜜多經 付けんどん箱(子～亥)12箱	南3-5-6	有形文化財典籍	平成10年4月1日
20	天神島天神神社所蔵資料 (社殿内保管分一括)	大字天神島279	有形文化財歴史資料	平成10年4月1日
21	金子家文書	大字上吉羽336-1	有形文化財古文書	平成16年4月1日
22	中村家文書	大字下宇和田58-4	有形文化財古文書	平成16年4月1日
23	橘守部翁遺蹟碑	北1-17-59	史 跡	平成16年4月1日
24	柳剛流祖岡田先生之碑	大字西関宿1-1	史 跡	平成16年4月1日

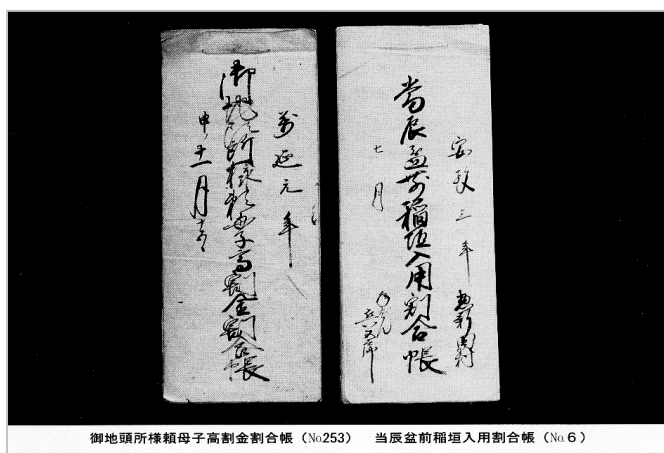
No.	名 称	所 在 地	種 別	指定年月日
25	本因坊第八世 伯元の墓石	大字天神島248	有形文化財歴史資料	平成26年5月1日
26	本因坊第九世 察元の墓石	大字平須賀3018	有形文化財歴史資料	平成26年5月1日
27	本因坊第十世 烈元の墓石	大字上吉羽396	有形文化財歴史資料	平成26年5月1日
28	浅間神社本殿の彫刻 付本社再建奉納額	北2-4-28	有形文化財彫刻	平成26年5月1日
29	千日念仏廻向供養塔	北3-763-1	有形文化財歴史資料	平成29年5月1日
30	一色照直寄進状	平須賀2-458	有形文化財古文書	平成31年3月1日
31	上戸の蛇打ち・蛇引き	戸島1-57香取神社 外	無形民俗文化財	令和3年2月1日
32	浜田得一撮影幸手町記録写真集	大字下宇和田58-4	有形文化財歴史資料	令和4年3月23日
33	川嶋家文書	大字下宇和田58-4	有形文化財古文書	令和4年3月23日

(3) 国登録有形文化財

No.	名 称	所 在 地	種 別	登録年月日
1	岸本家住宅主屋	中2-6249-1外	登録有形文化財(建造物)	平成21年11月2日



浜田得一撮影幸手町記録写真集



御地頭所様頼母子高割金割合帳 (No.253) 当辰盆前稲垣入用割合帳 (No.6)

川嶋家文書

(4) 市史編さん関係刊行物一覧

単位(円)

No.	名 称	発 行 日	頒布価格
1	幸手市史 通史編 I	平成14年6月28日	4,000
2	幸手市史 通史編 II	平成15年3月20日	3,000
3	幸手市史 考古資料編	平成14年3月27日	2,000
4	幸手市史 古代・中世資料編	平成7年10月1日	3,000
5	幸手市史 近世資料編 I	平成8年3月15日	3,000
6	幸手市史 近世資料編 II	平成10年3月25日	3,000
7	幸手市史 近・現代資料編 I	平成10年3月25日	3,000
8	幸手市史 近・現代資料編 II	平成11年3月25日	3,000
9	幸手市史 民俗編	平成9年3月25日	3,000
10	幸手市史 自然環境編 I 地形と気候	平成6年8月31日	1,500
11	幸手市史 自然環境編 II 植物と動物	平成12年3月24日	2,000
12	幸手市史 特別版 幸手歴史物語 川と道	平成14年1月30日	2,000
13	幸手市史調査報告書 第1集 吉羽家文書目録	平成元年3月31日	1,000
14	幸手市史調査報告書 第2集 船川家文書目録	平成2年3月30日	1,000
15	幸手市史調査報告書 第3集 岸本家・巻島家文書目録	平成3年3月20日	1,000
16	幸手市史調査報告書 第4集 中村家文書目録	平成4年3月30日	1,000
17	幸手市史調査報告書 第5集 川嶋家・増田家・麻生家文書目録	平成5年3月19日	1,000
18	幸手市史調査報告書 第6集 金子家文書目録	平成6年3月25日	1,000
19	幸手市史調査報告書 第7集 幸手の民家	平成7年3月17日	在庫なし
20	幸手市史調査報告書 第8集 幸手地区諸家文書目録	平成11年3月25日	1,000
21	幸手市史調査報告書 第9集 幸手一色氏一系図から伝承まで一	平成12年3月24日	在庫なし
22	幸手市史調査報告書 第10集 村と町一往時の幸手一	平成13年3月26日	1,000

(5) 市文化財関係刊行物一覧

単位(円)

No.	名 称	発 行 日	頒布価格
1	幸手町歴史散歩	昭和60年6月20日	絶版
2	幸手町歴史散歩(パンフレット)	昭和62年3月31日	絶版
3	幸手町歴史散歩(パンフレット) ※平成13年3月30日新文化財マップ作成により頒布を中止	平成5年3月	絶版
4	幸手町の板石塔婆	昭和55年3月31日	350
5	幸手町の絵馬	昭和58年11月1日	在庫なし
6	幸手町民具写真集	昭和59年12月1日	500
7	幸手の道しるべ	昭和61年3月31日	400
8	幸手の職人芸	昭和62年3月31日	500
9	幸手町のかたりべ(関東大震災編)	昭和58年3月31日	500
10	幸手町のかたりべ(昭和22年大水害編)	昭和59年3月31日	500
11	幸手町のかたりべ(銃後編)	昭和60年3月30日	500
12	テープ 幸手のかたりべ 3巻セット	昭和63年3月31日	3,000
13	幸手の記念碑	平成元年3月31日	500
14	幸手市埋蔵文化財発掘調査報告書 第1集 槇野地北・槇野地西遺跡	平成4年3月31日	500
15	幸手市お祭りマップ	平成3年3月31日	無償
16	幸手八景絵はがき	平成3年11月15日	無償
17	幸手市文化財マップ	平成13年3月30日	絶版
18	幸手市文化財マップ(改訂版)	平成15年5月31日	絶版
19	幸手市文化遺産調査報告書 第1集 幸手の石造物Ⅰ 幸手地区	平成17年3月25日	1,500
20	幸手市文化遺産調査報告書 第2集 幸手の石造物Ⅱ 吉田地区①	平成18年3月24日	1,500
21	幸手市文化遺産調査報告書 第3集 幸手の石造物Ⅲ 吉田地区②	平成19年3月9日	1,500
22	幸手市文化遺産調査報告書 第4集 幸手の石造物Ⅳ 幸手地区②・行幸地区・長倉地区	平成20年3月24日	1,500
23	幸手市文化遺産調査報告書 第5集 幸手の石造物Ⅴ 権現堂川地区・八代地区①	平成21年3月25日	1,500
24	幸手市文化遺産調査報告書 第6集 幸手の石造物Ⅵ 八代地区②・上高野地区・補遺資料	平成22年3月25日	1,500

市民憲章

わたしたちは、自然と産業の調和した豊かで住みよい魅力ある郷土「さって」を目ざして、ここに市民憲章を定めます。

- 1 自然の風土を愛し、自分たちの手で美しい郷土をまもります。
- 1 おたがいの人権をみとめあい、平和な明るい郷土をつくります。
- 1 子どもから老人まで、生涯にわたってスポーツを楽しむ、健康な郷土を育てます。
- 1 まちの歴史を見なおしながら、文化財を大切にし、文化のかおり高い郷土を培います。
- 1 はたらくよろこびに生き、しあわせな家庭をもとに、みんなの力を合わせて、伸びゆく郷土とともに進みます。

文化都市宣言

さくら 夏祭り 黄金〈こがね〉の波 きれいな空
古い伝統 豊かな自然が 育んだ 故郷〈ふるさと〉という宝物
みんなで尊〈とうと〉び 手に手をとって 未来へ引き継ごう
桜堤 利根川 緑の田園 美しい街並
義人の心 先人の努力と叡智〈えいち〉で 築かれた 郷土の文化
みんなで護〈まも〉り 手に手をとって 埼玉へ広げよう
思いやり 健康 潤い 進歩
今のわたしたちが 培〈つちか〉い創〈つく〉る 新しい文化
みんなで学び 手に手をとって 次の世代へ伝えよう
活力ある 文化の薫〈かお〉りたかい わたしたちの 幸手
無限の発展を願い 永久〈とわ〉の平和を誓い
市制施行にあたり
幸手市を「文化都市」。とすることを宣言する

昭和 61 年 10 月 1 日

幸 手 市

平和都市宣言

私たちの郷土「さって」は、美しい自然に恵まれ、市民の日々安らかなくらしがその上にある。

更に市民一人ひとりが尊重され希望と誇りをもって豊かな社会を築き、次代に引き継ぐことを念願として新しいまちづくりに努力している。

しかし、いま、このかけがえのない郷土や地球上の生きとし生けるもののいのちとこれまで人々が築き上げてきた貴重な文化が、戦争によってそのすべてを失いかねない脅威にさらされている。

私たちは、戦いによって傷つけあうことの愚かさを憂えるとともに、「非核三原則」の国是を堅持して世界の恒久平和が確立されることを願い、ここに平和都市を宣言する。

平成 2 年 4 月 1 日

幸 手 市

健康ふれあいスポーツ都市宣言

私たちは、生涯にわたってスポーツに親しみ、健康な心と体をつくり、ふれあいとやすらぎのあるまち・幸手市をめざし、ここに「健康ふれあいスポーツ都市」を宣言します。

- 1 スポーツに親しみ、健康な心と体をつくります。
- 1 スポーツを楽しみ、明るい生活をおくります。
- 1 スポーツを愛し、友情とふれあいの輪をひろげます。
- 1 スポーツを通して、ゆとりと活力のある幸手市をつくります。

平成3年10月1日

幸手市

幸手市民歌

しあわせ風景

作詞 石坂まさを
作曲 石坂まさを
編曲 藤田まさたか

- 1 咲き薫る 花は桜か こもれ日に 小鳥の音がする
瞳と瞳 見交して
明日と云う日を 語る時
新しい春が来る 新しい春が来る 我が幸手市に
- 2 水清き 川の流れのやさしさに 魚の背が光る
子供と共に 歩く土手
匂いほのかに 月見草
爽やかな夏が来る 爽やかな夏が来る 我が幸手市に
- 3 黄金なり 実る稲穂の田の道を 祭りの笛太鼓
あの窓 この窓 ゆうげどき
一家だんらん ほのぼのと
楽しげな秋が来る 楽しげな秋が来る 我が幸手市に
- 4 見上げれば 日光連山雪化粧 あなたの白い息
一人が一人にこだまして
響く歌声 高らかに
暖かい冬が来る 暖かい冬が来る 我が幸手市に

幸手市民体操歌

幸せの手

作詞 石坂まさを
作曲 石坂まさを
編曲 京建輔

- サッテ サテ サッテ サテ
サッテ サテ サッテ サテ
- 1 空に伸ばせば 太陽つかみ
川にもぐらしゃ ナマズをつかむ
僕のこの手は 不思議な手
サッテ サテ サッテ サテ 何の手だ
サッテ サテ サッテ サテ 何の手だ
明日をつかむ 幸せの手だ
そよ風 そよそよ 緑も揺れて
幸手は ふれあい 友達のまち
- 2 あなたの名前を 手のひらに書き
まぶたを閉じれば あなたが見える
私のこの手は 夢みる手
サッテ サテ サッテ サテ 何の手だ
サッテ サテ サッテ サテ 何の手だ
恋人おもいの 幸せの手だ
桜やさしく ひばりが歌い
幸手は ふれあい やすらぎのまち
- 3 拳を握れば 力が湧いて
指をひらけば 未来がひかる
みんなのこの手は 魔法の手
サッテ サテ サッテ サテ 何の手だ
サッテ サテ サッテ サテ 何の手だ
くらしを築く 幸せの手だ
あの窓 この窓 夕げの匂い
幸手は ふれあい 幸せのまち

幸手市の花・木の制定

自然に親しみ、植物を愛し、緑に囲まれた美しく豊かな住みよいまちにするため、幸手市の花、幸手市の木を次のように定める。

昭和 55 年 11 月 7 日制定

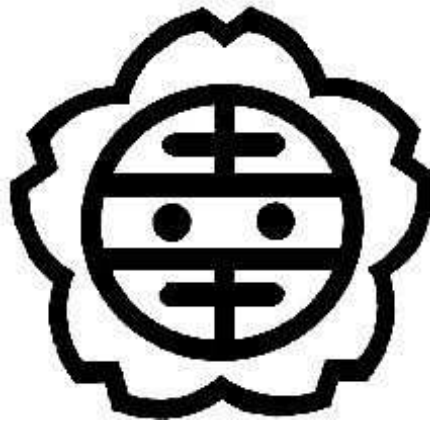


幸手市の花 さくら



幸手市の木 榎

幸手市章



さくらの花びらと幸手の頭文字「幸」を図化したもの。さくらの花の美しさを象徴し、住民の融和としあわせを表現したものである。

幸 手 の 教 育

(令和5年度版)

発 行 日 令和5年6月

編集・発行 幸手市教育委員会

〒340-0192

埼玉県幸手市東4丁目6番8号

TEL 0480-43-1111(代)



幸手市のマスコット
さっちゃん